京城日報
十九日夕刊
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

# 第三十七回帝國議會

## 内閣彈劾案の論議

### 十八日の衆議院本會議(續)

(△肥塚龍氏(同志)演説の續き)故に予は謹で其の本家たる政友會に返上す可しと元氣よく辯じ與黨の拍手聲裡に降壇

△關直彦氏(國民) 登壇、余は原君の所説に贊成する者なりとて留任問題より瀆職事件に論及し當時農相たりし大浦氏は一錢の機密費を有せず然るに機密費を以て議員買收に充てたりと云ふ是れ内務若くば内閣の機密費を以てしたる事明かなり而して當時の内相は首相の兼攝なり故に首相が大浦氏の瀆職を知らずと稱するも誰か之を信ずる者ぞと急所を突き予は多年大隈伯を尊敬する者にして伯が其終りを全うせんことを希望して已まず伯にして其終を全うせんとせば此好機に於て辭職するを最も適當と認むと述べ降壇、次いで

△頼母木桂吉氏(公友) 登壇伊藤内閣に於て時の遞相山縣伊三郎氏と大藏大臣阪谷芳郎男と鐵道資金に關する意見の衝突ありたる際内閣は辭表を提出したるに兩大臣のみ辭表を聽許せられ他閣僚の辭表を許さゞりしと述ぶるや、野黨は何を言ふかと盛んに彌次り頼母木氏漸く最後を結びて降壇(朝刊△菊地武徳氏(中正)に續く)

## ▲開會以來の大亂狀

### 各彈劾案全部否決さる

△金澤種次郎氏(公友) 登壇奇聲を發し政府擁護演説を爲し降壇するや

△大隈首相 登壇國家重大事の秋に際し斯る無稽の決議案を提出されたるを遺憾とす提出者原敬君は經歴ある政治家にして既に三四回も閣班に列したる事あれど其言動は愼重なる可きに其言ふ所多く感情論にして事實を誤まれり過般の總選擧は公平に行はれたり大浦氏事件の如きは其の言ふ所指彈的にして首相は責任を大浦氏一人に嫁したりとは何事ぞ而して其責任論の如きは恰も君主權を冒す者なりと論ずるや國民黨より議長を連呼し首相の失言を責む首相之に屈せず大聲を揚げて辯ずるも議場喧囂を極め徹底せず果ては總立ちとなりて卓を叩き床を鳴らし其亂狀を極むる裡、武藤金吉氏(政友)を先登に山本悌二郎氏(同)堀切善兵衞氏(同)濱田國松氏(國民)議長席に肉薄し武藤氏は壇上の首相に向ひ君主權を冒すとは何事ぞと喰て掛り△卓上に在りし首相の演説原稿を奪取して卓上に叩き付けんとするや與黨の代議士も素破只事ならずと一齊に演壇に驅け登りたれば茲に壇上壇下忽ち修羅場と化し武藤氏は守衞の制止を聽かず首相の腕を握りて放たず小林氏は腕を捲り大臣席に跳び込み混亂名狀す可からず壇下には富田幸次郎氏(同志)野黨議員に取圍まれ終に毆打され半死半生の體也斯る間に首相は山崎秘書官に助けられ降壇退場せるも議場の紛亂は收拾すべからず議會開會以來未曾有の大騷亂を續くること十五分間七時五十分漸く鎭靜し

△大隈首相 再び登壇辯論を試みて退場す此の時、武内作平氏(同志)討論終結の動議を出し議長は其の可否を起立に諮ひたるに多數にて動議成立し議長は決議案の贊否を記名投票にて決す可しと諮り投票の結果百三十二に對する二百二十二の多數にて決議案は否決となり議長は大塲茂馬氏(無所屬)提出の決議案を議題とす可き豫定なりしも同氏病氣の故を以て延期の申出ありたるより延期す可きや否やを諮りたるに之を議題とするに決し

△大塲茂馬氏(無所屬) 登壇余は病氣なるも院議により説明す可し、されど首相の出席無し首相出席せば直に説明す可しと述べ降壇、松田源治氏(政友)延期の動議を提出したるも成立せず小山松壽氏(公友)緊急動議を提出し大塲君は既に發言を放棄したる者なり故に前決議と同樣なれば討論終結し採決す可しと述ぶるや政國兩黨之れに反對し議場又復騷擾し議長大塲氏の登壇を許したるより與黨は議長に不平を浴びせ大塲氏は議場の騷擾なるに關せず悠々として彈劾の主旨を述べ降壇するや

△島田議長 小山氏提出の動議を可否に問ひ多數なりしより討論を用ゐず採決を起立に問ひ多數にて否決次で議長は林毅陸氏(無所屬)提出の決議案を日程に追加して議題と爲し林氏登壇決議案の主旨を叙述し採決の結果否決し喧囂の裡に十時散會せり(東京特電)

—輻輳延著—

## ▲對大隈首相決議案提出

無所屬代議士林毅陸氏等十八日左の決議案を衆議院に提出せり(東京特電)

總理大臣大隈伯は大浦氏の小件に關して責任の避け難きを思ひ一旦辭表を捧呈したる後口を聖旨に藉りて留任したるは立憲の大義に反するものと認む

## ○一月一日即位式内定

大典準備局より部省官衙へ一月一日即位式行はる可く内定したれば其心得にて準備せらる可しとの電報を發したり(北京特電)

## ○獨逸大戰準備

和蘭よりの各報道を見るに獨逸は西部戰線に於て總攻擊を行はんとして大々的準備を行ひつゝある者の如し

## ▲東部亦準備

露都來電に曰く、獨逸はドゥヰンスク地方に於て大戰を行はんが爲め今や準備中にして重砲及び新聯隊を此方面に輸送しつゝありとの報道あり(倫敦電報)

## 雜報

### ●會頭問題の經緯 娘一人に婿四人

何時も商業會議所の役員選擧が平凡なく々と云ふは外面のみにて其實内部にては幾多の經緯ありて後「何事も平和に圓滿に」と決定するを例とせり就中今回は會議所の革新期とも云ふ可き秋にして從來とは名實共大に其趣を異にし居れるため評議員選擧に際しても過般の如き競爭を見たる位なり況や役員選擧にありては猶ほ一層各自に魚心あるは當然の結果なりと云はざるを得ず左れば逆道に正面よりそれと名乘り出る者もなけれど又それだけ此間に介在して交渉調停の衝に當る者も氣骨の折れる次第なり幸にして會頭は原田金之祐氏と云ふ特種の關係ある人物によりて殆んど既定の事實となり居れども副會頭に至りては其候補者たる人物に乏しからざるため自然其間に於て

▲暗々裡に競爭 の行はるゝものなり即ち今回副會頭の候補者として尤も熱心なる希望者と傳へらるゝ岡正矣氏を筆頭に釘本藤次郎、關繁太郎の三氏之れに次ぎ西村道彥氏は評議員の當選にすら未だ承諾の通知狀を出さず東京本店の指令を俟つて回答せんと稱し居る位にて若し萬々一副會頭に推さるゝこともあるも絶對に固辭すべしと語りたりと云へば結局岡、關、釘本の三氏專ら其位地を覗ひ居れるもの如し併しながら若し此まゝ三候補者の競爭に委せ置かば廿日の總會に於て投票の結果三人共に投票分列して其内の最高點者が當選することゝなる可きも斯くては今後商工業者の機關として存在し其目的を遂行する上に於て面白からざる結果を見るやも測られざればとて目下此間に立ち

▲居中調停の勞 を取らんとする者ありて其方法に就て種々攻究中なるが十八日午後四時京城日本人商業會議所の特別議員たる石塚長官は釘本、關、岡其他二三氏を官邸に招待し懇談する所ありたりと云ふ一方民間有數評議員等の意見として會頭は補助會社の社長を出し居る以上せめては副會頭は京城土著の人物を選出したいとの希望を有し居れり事情如斯なるを以て總會迄中一日と切迫せる今日に至るも何れとも決定せず多少紛糾の狀態を續け居れり若し關氏にして副會頭たらんには會議員には關、釘本、天日の三氏に韓相龍氏を加へたる四名の定員に決定す可きも是等の妥協纏らずさせば寧ろ天日常次郎氏を副會頭に推し鮮先を他に轉ずるも亦一策ならんかと云ふ者あり果して成行如何なる可きか一般に興味ある問題として噂傳され居れり

### ◎練習艦來鮮期

海軍少尉候補生練習の爲め内地及び朝鮮、支那沿岸を巡航す可き練習艦隊磐手、吾妻の兩艦は十六日江田島を發し有明灣より佐世保に寄港の上明年一月十一日旅順に着し其れより大連を經て二十六日仁川着、二月二日鎭海に入り十九日同所を拔錨して舞鶴、大阪、淸水の各港を經二十四日横須賀着の豫定なり

### ◎臺灣材初移入

此程仁川港に入港したる日本汽船漢口丸にて臺灣阿里山產扁柏丸太五本二千二百四十七才價格二百二十四圓七十錢同紅檜三本一千八百九十才價格二百二十六圓八十錢の移入を見たり是れを以て仁川に於ける臺灣木材移入の嚆矢とす本木材は臺灣營林廠の製材に係るものにして之が關西一手販賣特約店神戸鈴木商店は木材の新販路を朝鮮に開拓するの目的を以て今回始めて移入を試みたるものにして仁川に於ける販賣方は雜貨貿易商井上藤吉商店を介して當地木材商と協議中なりしが其後鈴木商店京城出張所に於て之を販賣することゝなり同材を京城に發送せり今回の移入品は丸太のみなりしも今後板及び小角材をも移入計畫の由にて其の材質は内地產の檜材に及ばざるも鴨綠江紅松に優り用途の如きも最初の移入品なるを以て如何なる方面に之を使用せらるゝかは未だ見當を附け能はざるも今日の豫想にては内地檜材代用品の外米利堅松代用品として有望なるが如く價格も未だ相場建たざるも若し價格の點が引合ふに於ては豐富なる同材のこととて將來相當の移入あるべしと某氏は語れり

## 南言北語

獨逸の突き出した鐵拳にはマア〳〵で折れて出た亞米利加はアンコナ事件から端なくも墺國には荒々しく突つかゝつて居る▲と、云て弱い者いぢめでもあるまいが在米墺國大使は一時獨探の採配を取つて居たから江戶の仇を長崎的に今度こそウンとやれと云ふのだらう▲米國も此の相手なら取る心配はないからグイ〳〵突つ込んで行つて國交斷絶と大きく出かけるに違ひない▲併し國交斷絶となつても先づ戰爭などの起る氣遣はないが、在米獨探は得たりかしこしと益々活動して何んな事を仕出かすかも知れぬ▲米國も餘程考へてやらねば飛でもない事を惹起するかも分らぬ現にウヰルソン饒役の獨探の計畫の裡面には墺國人種も多かつたらしいからナア▲支那帝政派領袖の一人は大隈伯の對支政策は成功と稱し難しと云つて居る▲隨分思ひ切つて人を馬鹿にした話だ此方で成功と思つて居たら第二回目の勸告なども無意味で御坐ると嘲笑つて居る▲が、如何に怒つた處が實際警告も勸告も何處かへ押し寄せて來て皇帝もチャンと据ふ出て來たからね▲此方の云ひぐさより彼方の云ひぐさが眞實だからなさけない▲其れのみならず日本は其の國内を以て亂徒の根據地とするを許して居るから支那の内亂は日本も其の責を免るべからずと云つて居る▲ルシタニヤが獨逸の潛航艇から擊沈されて米國が獨逸に突つかゝつてあべこべ手痛く叩き付けられたが鳥渡日本も米國に似て來た▲騷亂が起つて外國が損害を被つた時支那は其の責を負へとやつたら▲馬鹿云へ支那の内亂には貴樣の方も責任があるぞや警告と勸告とが幾萬遍行つたつて何になる▲成る程之れでは成功と稱すべからずだ此方の方で面目ない黎元洪は武義親王を虔んで返上に及んだ處が國民元勳を欽仰するの趣意に悖る勿れと不可でも應でも親王に祭り上げて仕舞つた▲反對派へは此の手で行くから抑々何うして帝制鞏固な反對の巨頭はないだらうとの事

お米一粒參圓
大嘗祭主基齋田 精白御用
東宮殿下 賜御嘉納
御卽位式中の大嘗祭と大饗宴に御用ひありし主基悠紀の兩田より供納し奉りたる御齋田米は收穫に至る迄の諸經費を一粒に割り當てる時は約參圓なりとは新聞紙の報道する處なり斯く貴き高價の御齋田米は畏くも本機にて精白し奉りたり

精米補助用 清水式無砂精米麥機 自働循環昇降機
金銀牌十數個受領 各博覽會各共進會に於て
製造發賣元 陸軍御用達 合資會社 清水商會
東京市神田區五軒町三番地
長距離電話下谷三七三四番 振替口座東京二〇七〇〇番
(說明書進呈)

高野山弘法大師御相傳名灸
三寶院主坂田僧正駐錫中隨員施灸
十二月十七日より五日間
於壽町京城俱樂部内(日之出學校運動場横)

少年 新年號 少女

少年 新年號特別大附錄 御正裝の東宮殿下 ▲油繪原色版菊四倍版面用▼
怪車と怪人 水陸
龍門俱樂部 村羊
皇帝の軍旗 佐雄
お伽蜜柑船 冷光
高塔の怪雲 永洲
天狗の死骸 冠者
「少年」新年號所載の呼物十數篇中以上の六篇は必讀の文字也、野球小說、冒險小說、武俠小說、探偵奇譚等痛快を極む
新定「少年」最高名譽賞牌發表
固定價十五錢 郵税一錢 東京時事新報社發行
少女 新年大附錄 本田庄太郎畫 吉田秋光畫 十二ヶ月少女花曆 ▲奇麗な色彩の短冊十二枚▼
六大少女小說 面白い、爲になる、愉快な、やさしい、奇怪な、涙の出る、嬉しい、小說許り
元祿の烈女 永洲
花の自働車 佐雄
隱れんぼ山 冷光
出世の昇龍 村羊
露西亞少女 春惠
奇妙な長持 冠者
「少女」ご讀者の名刺交換會

實用向で いきな お歳暮
京城本町の 北内 に取揃て有ます
卷紙封筒組合文具は箱の中に名刺無料印刷券挿入あり御進物はお送り先へ配達致します。

物品購買公告
一、大麥 五千九百石
一、大豆 三千二百石
此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上
右各別ニ入札ニ附ス供給請負希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ入札人心得書契約書案仕樣書見本等熟覽ノ上十二月二十二日午後二時限リ本府庶務係ニ入札スベシ即時開札ス
此契約擔當者朝鮮總督府府尹金谷充
大正四年十二月十五日
京城府

履物問屋 井筒屋田中 大路本店
大阪市御堂筋北久太郎町 電話東百九十番 振替大阪四一八八
御一報次第相場表御送付可仕
大阪履物商進會々員 毎月一日發送ノ特約可取次

移轉廣告
江原道春川行乘合自働車
京春自働車商會
移轉地 京城水標町五〇番地 電話二一三三番

優良石鹸 花の都
マスト石鹸發賣元 東京 大阪 野村外吉商店

# 腕競べの珍趣向

## 今年は何の教會も賑かなクリスマス

天に榮光地に平和と歌ふ天使の歌も何事ぞ今年許りは打續く戰亂のために歐洲の交戰國民は一年一度の目出度き降誕節すら心からして祝ふことが出來ぬと云ふ程悲慘なものである

それでも遉に二十五日の降誕節當夜は敵も味方も暫時劍戟を收めて互に『主よ吾等の戰に勝利を與へ給へ』と祈るであらうそして或者は接戰地に敵味方入り渡りて雪の戰線に祝酒を酌み交すことであらうと思ふが左るにても東洋の吾日本にては此戰を外に見て心からの祝意を表することが出來る幸福は此上もないことである、京城に於ける各教會の催しの中知り得た所のものを掲げて見よう

■美以教會▲二十五日▼

日曜學校の管理に於ては京城各教會の範とせらるゝだけあつて生徒の歌、對話、暗誦等も却々凝つたものが多い祝會は一番より三十五番に至る順序の內でクリスマス手まね歌、星の夜、聖誕の夜などから戰爭の生んだ新しき平和とが白耳義日曜學校生徒に送ると云ふ可憐しきものもある此教會は他教會に比し例年質素に有益にと云ふ所からして餘り裝飾なんかはしないのが一層に床しい

■日本基督教會▲廿五日▼

此處の教會は信者に山の手の人が多く從つて何事も華麗にやると云ふ風がある每年のクリスマスには大した金を費ふと聞いて居る祝會の臨席を見ると第一部が大人の祝會で第二部が子供と云ふ番組である前者がどこ迄も宗教一天張りなのに較べて此方はピヤノ聯彈こか活人畫とかまたは『半可通の批評者』『學校遊び』等の通俗的な催物が多い樣である

のも頗る碎けたところを示してゐる

■天主教會▲二十四五日▼

每年降誕節の魁は佛蘭西教會と定まつて居る樣に十二月の二十四日の晚が來るとあの百何十尺かある高塔の頂天から蜘蛛手に赤提灯が垂れ下げられて時に雪でも降れば押迫つた年末の氣分が味はれるのであるが今年も亦二十四日の夜半から同教會の華燭の輝き燦爛たる聖堂の裡に彌撒の聖祭が催され更に二十五日の午後七時半から內地人信者のみの降誕節祝會が催される此祝會には活人畫などの催があると云ふ

■日本聖公會▲二十五日▼

こゝも亦天主教と同樣固苦しい方なれば組合は午後六時から會堂で禮拜式あり終て別室で大人子供聯合の祝が催されることに決定し居り目下盛んに準備中であるが喪內を入れずに大人も小供も共に樂しむと云ふ方針から餘程面白い趣向があると云ふ

■組合教會▲二十四日▼

丹羽校長先生を始め日曜學校の教員等總掛りで準備中であるが第一部に於て降誕節禮拜を爲し第二部では大人子供聯合の祝會を催す筈である餘興の中には尺八の合奏、活人畫の通俗的なものや子供の對話、聖書暗誦、讚美歌などの可愛らしいのが多くプログラムを埋めて居る

小さいお客樣——クリスマスの人形

# 北に印度兵、南に英兵

## 蘇英士運河を固むる八千人の兵士

(歐洲航路の對馬丸同乘員より——町田船醫報)

十月廿四日コロンボ發、海上も至極平穩にて氣候も申分なく廿九日アデン灣に入り申候、之れより先き將に船アデン灣に入らんとするの時鹿島丸に會ひ

■無線電信にて■

クリート島附近に獨逸潜航艇出沒すアフリカ沿岸を航行す可しとの注意を受け十一月六日スエスに着し候後方よりは濠洲より「ダーダネルス」に送らるゝ兵士等大客船に滿載され到着仕候我が對馬丸も船橋に砂嚢を積み丸除に供し候、何んとなく戰爭ごつこでも致す樣にて危虞の念よりも可笑しさの方先き立ち申候、かくて七日運河を通航候、入

■兩岸を固め居■

り北岸は印度兵、南岸は英兵にて眞似ばかりの塹壕試驗ばかりの鐵條網も相ひ見え候がノンキなものにて遊んで居る樣なものに候然し軍隊の監視は前航よりは嚴重に有之候駱駝や驢馬の參加せるも面白く感ぜられ候ボートサイドにては船長の證明なければ

■上陸を許さず■

候、運河には可なり船が聚り居で十七八隻に遭遇仕候わが對馬丸は軍隊と道伴れに相成り候爲一回も止まらず十二時間にて通過致し候ロンドンには廿一日著の豫定に候

# 火藥製造所爆發

## 死傷者一千百餘名に及ぶ

十一日附ハーブル發通業報に依れば同日朝グラヴィル郊外の白耳義政府の火藥製造所に爆發起り工場の外に附近の職工宿泊所も亦破壞せられ只今迄に確められたる所にては死者及び重傷者百十名に及び概算一千人以上の輕傷を出せり(東京特電)

# ◉神戸ミカドホテル 五十萬圓の負債で閉店

本邦觀光の歐米人其の他を常客とし京阪に於ける帝國ホテルと共に吾國ホテル中の嚆位にありし神戸ミカドホテルは昨年來より引續ける歐洲戰亂の影響を受けて觀光客激減せるに基因し經營頗る困難となれる結果五十萬圓餘の負債を生じたるが今回愈々沒落の悲運に立ち至り二十日限り閉店するの餘儀なきに至れるが同ホテル閉店名儀は同地鈴木商店となれり(大阪特電)

# 工廠多忙

## 徹夜にて就業す 露國の兵器注文

大阪砲兵工廠にては露西亞より引受けたる大多數の兵器製造にて過般來より職工の大增員を行ない徹夜にて就業し居れるなど日露戰役以來始めての大多忙を極め居れり(大阪特電)

# 漢江結氷

## 人馬の交通未し

二三日來の酷寒にて漢江沿岸は堅氷固く凍結せるも河中の中央部は未だ薄氷の僅かに張り詰めしのみにて未だ人馬の交通は危險なり附近の兒童その他の氷滑りを試むる者あるも憲兵分隊にては是等に對して注意を與へ居れり

# 爆彈破裂

## 飛行船の壞滅

コッペンハーゲン來電によれば新造ツエペリン飛行船第十二號は西シュレスウイヒに於ける格納庫を出んとする際爆彈爆發の爲め破壞せられ四十名より成れる乘組員は死傷し尤大なる格納庫は壞廢したり(東京特電)

# 火牛枯草の山を荒れ廻る

## 妙なカチ〱山

仁川府在住當時京畿道金浦郡陽東面新亭里一統六戶韓鳳俊(四十)は外數名と共同して同里所在の草山の枯草一萬餘把を買ひ去る十二日徹宵して駄牛にて自宅に運搬中同日午前三時頃前記韓が手にせる炬火の餘燼を後方に拋棄したる際誤つて枯草を滿載せる己れの乘駄牛の背中に落したるより餘燼は忽ち牛背の枯草に燃え移りたるを以て駄牛は驚き手綱を振り切つて狂奔し始めたるより手の付け樣なく唯アイゴ〱と呼び騷ぎ立つ間に火牛は一萬餘把を積みある草山に驅け上り縱橫十文字に驅け廻りたるより牛脊の火は見る〱內に一萬の草把に燃え移りたれば全山忽ち火の山と化し炎々天を焦し壯觀言語に絕し數里を隔つる遠隔の地よりもよく望見し得たるが卅分餘にして鎭火し幸ひ民家には延燒せざりしも牛は黑焦けとなりて斃れ枯草は全部烏有に歸せり因に失火者韓鳳俊は森林令違反として仁川支廳に於て起訴されたるが飛んだカチカチ山を演じたるものかな

# ◉大阪の初雪

東海道米原驛附近の降雪一尺以上に達し大阪も初雪降りたり(大阪特電)

# ◉娘にも感染

京城花園町百二十一番地久世きさ十七日診斷猩紅熱と判明したる所十八日午後一時檢診の結果同人娘たみ(二)にも感染し居れること判明したり

十八日、白堊宮で華燭の典を擧げた大統領ウイルソン氏とベルト夫人

# 懸賞募集 新年文藝

【課題】▲和歌『寄國祝』▲短歌『新』▲俳句『門松』▲川柳『かるた』▲俗謠『松の內』▲『ものは付け』『目出度ものは』▲一口噺 新年に因めるもの

【〆切】十二月二十日

【用紙】端書又は同型の用紙

【注意】各種別に別用紙に認むること、表面に『京城日報社編輯局內懸賞新年文藝係』と記すこと、

【賞品】▲一等(一名)一圓 ▲二等(二名)五十錢宛 ▲三等(三名)三十錢宛(但し本社代理部相當商品切符贈呈)

# ◉歲末は電話の小言が多い

歲末押し詰まつて人の氣が忙しくなると電話交換手に對するさま〲の不平があちらでもこちらでも聞えるやうだ先づイの一番に御注意を願ひたいのは公衆から呼出しをかけた場合に『お話中』の

▲脅鐵砲を連發する事尤も事實相手がお話中なら何んとも致方がないが、左樣に受取れぬ場合が多いといふ不平が盛である店の小僧が出張先から電話をかけたが『お話中』で話が出來ず歸宅後主人に聞くとそんな事はないといつた樣なのがざらにある斯樣な時には五〇〇の監督へ問合はせるとわかる事だが火急の際にはそんな隙がないこれが不平の一等次は呼出信號があつても容易に出ない事、これは

▲夜の十二時過ぎの電話や自働電話に最も多いそれから相手の番號を云ひ終らぬ內に切つてしまふ事話中に切る事などは公衆不平の主なものである、さは云ふもの丶公衆諸君も不平ばかりは申されない、交換手の註文も聞いてやらねばならまい、二三申して見ようなら先づ第一に番號を正確に唱へて貰ひたい事次は交換手をいぢめる事、からかふ事、おかめ、馬鹿野郎などはまだお手軟かな方、どうしてなか〱

▲手嚴しい露骨なのがある新參者の小娘などは朝一度ボンと遣られて終日仕事のやれない者もあるとの事、次は自働電話の料金に銅貨を投込んでまごつかせる樣な滑稽其他まだ〱あるらしい年末多忙の折柄電話の取扱はお互に一層注意せねばならぬ

## ▲金谷村より

黒野生子

清凉里に電車なすてゝ、目をつぶつてもわけられる一筋道、兩側には楊柳の並木がどこまでもつゞいて居ます、その並木に添うて四里近くやがて金谷といふ小村につきます、右には清凉里の御陵地に似た

□稚松の林があります□ 林は丘につゞき山に迎りて盡したるやうなみどりが左側の洪陵山に對してうれしう眺められます、そしてそこには李王家陵寢の豫定地とかに承はる山陵があります、憲兵の派遣所から[illegible]道路に出る約五町、これこそ、私が大に誇らんとする所は先づ一度來て御らん遊ばせ、世界一とはポプラ並木であります、何だポプラ並木位と仰るいませんよまづ內地や京城附近ではめづらしいでせう、高さ十五間は確かでせう、それは風かほる初夏、したゝる樣なみどりの並木を[illegible]にしては何ものをも美化せずにはおきません。秋こそ、初霜にきばみ初めて

□ひと夜明くるごと□ に色まさり行きみんな眞つ黄となつた時、その時ですほんとうにく〱あゝこうして目をつぶつて居てもあゝまく見えます、美しいけしきが、全く金屏風をひろがした樣ですわ、その又散りぎわの見事さ、ヒラ〱ヒラヒラヒラヒラ

□はしから端までの□ 間をいく百千萬間斷なしに散ります、並木の下へ行くとひざも埋むばかり美しい〱葉が………私はそこに脈をすえて全身に黄葉を浴びつゝいろんな事を考へるのが好きです、並木も只今は寂寥で御座いよ、されの朝、闇の夕、これから三月………風に立つて居ります、あゝその男ましい男士の姿を……想ふとせめて袷に足袋添へて寄せてもやりさう御座んす、皆様一度御越し遊ばせ、誇茶位は喜んでさし上げますほどに

# ◉全身二十二箇

金剛並山洞に於て同地朴亮善方に[illegible]中餐を了へ發砲は要領と彈の詰め[illegible]か興奮と聞れて發射し約二間半前に居りし同地金明延(二三)に興味的中し[illegible]業務上過失として目下嚴重取調中なり[illegible]は既電の如くなるが今詳報をきくに被害者は同地在住吉藤才次郎の妻た[illegible]二十數箇所何れも深さ二三寸の傷あり其の他身體にも五六箇所の重傷を[illegible]

# ◉仁川高野山の不動經

仁川高野山にては十八日夜より二十一日正午迄[illegible]不斷經を執わし二十日夜は[illegible]

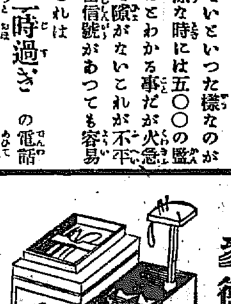
天氣 [illegible] 晴一時曇 十二月二十日 [illegible]



# 家庭の福音

新案登錄第三四四〇七號

參德針箱



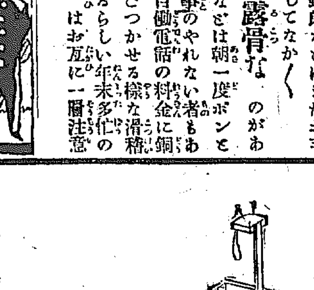
構造上の特點

(1) 引蓋の裏へ押付鋏箆臺を設けて一定の位置に用具の整頓を謀りたること

(2) 伸縮自在なる桁臺付針山を糸巻入の一隅に裝置したることと

(3) 糸巻入を糸巻掛と絲屑入とに區劃して混雜を防ぎたること

新案登錄第三四四〇三號 學生用 攜帶針箱



構造上の特點

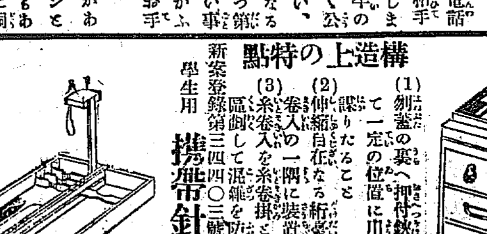
(1) 攜帶に便利なる樣箱の容積を勉めて縮少したること

(2) 蓋裏へ押付鋏箆架と糸巻挿を設けたること

(3) 蓋裏の一隅へ針山付桁臺を樞軸にて取付け使用の時は之を起し用濟の後は之を倒せば鋏箆押とを金具にて連結して糸巻押となり蓋を閉づるも箱に入れある物と混雜を防ぐこと

理想的ー萬年食卓ー

新案特許第三六五八三號



表面之圖 裏面之圖

脚が自由になるテーブルは高尚優美簡便にして體裁よく家庭でも四五人の會席でも最も便利なり脚は螺旋にて自由に折疊みうべく造りあれば從來の作よりも堅牢にして場所を取らず從來になき重寶品なり御用命を願ます

▲特約販賣希望の方は御一報あれ

內外國向販賣元 佐野屋(長電交番)

漆器製造 武藤孫左衛門

靜岡縣靜岡市吳服町二丁目卅五番地 振替貯金口座一一、七五九番

# 東洋一實用靴

防寒用御披露

弊店製造の御靴スリッパは[illegible]段破格の安價にして[illegible]を特色とす

一ラシヤ靴防寒用 一金一圓廿錢以上金一圓六十錢

一麻布製運動用 一金二圓卅錢以上金二圓八十錢

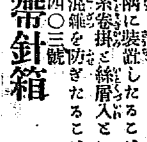
一スリッパ一式 一金卅五錢以上八十錢迄

此他御注文に依り御意匠御製作可仕候

地方は代金引換にて迅速送付可致候

京城黄金町三丁目

商標 Ⓚ 二葉屋實用靴製造卸小賣所



七日ツケタラ鏡をごらん色白くなる

ゲンソ液

今東京で大評判の白美の元素

日ヤケおしろいヤケを防ぎ男子のヒゲソリ後朝夕洗面後入浴後によく眞の美人美男子となる其他いろ〱の特效あり

本舖 東京神田和泉橋際 松本藥店

全國の藥店小間物店にあり近所に品切の時は直接本舖へ郵券代用御送附あれば直送す。●定價卅錢 郵税四錢

最良髮油

[illegible]油

殿方も御婦人も御愛用遊ばさるゝ頭髮のために一番良い香油

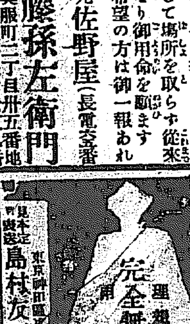
本舖 東京 [illegible]井善製

支店 大阪市南久寶寺町四丁目 藤森源之助 電話南一八七八

新築御披露

四方の御客樣方特別の御引立を蒙り難有御禮申上候陸續繁昌にて從來の家屋にては狹隘を感じ候に付今回錦町に新築落成移轉仕候間倍舊御引立の程奉願候 敬白

忠州錦町 末廣館



理想的雨具 完全無比の[illegible]

見本定價表送呈 東京[illegible] 島村友三郎商店

## ◉奉天情信
臨時憲法—登極恩賜—省費半減—新鐵道

▲臨時憲法制定　袁總統が近く改革せらるべき中華帝國の皇帝に即位を承諾せるは既報を經たるが十三日在京文官の朝賀を受けたる翌十四日を以て登極大典籌備に繁文縟禮を去り質實簡撲を採用せよとの申令を發すると共に憲法起草委員の推薦を參政院に命ずるの申令を發せり案ずるに此憲法起草委員なるものは往來の憲法起草委員會を廢止するか又は其委員を補充し新委員會を組織せしめて此程選擧せられし國民會議員の正式に憲法を制定するまでの過渡期間に實施すべき一種の約法を起草するものなるべければ或は數日を出でずして推薦せらるべく次いで脫稿の上は代行立法院に交附決議の上發布されんといふ

▲袁氏登極恩賞　國體改變の公登極後に於て恩賞を功臣に分つは既報せしが其德澤に浴する資格あるものは下記の如くにして別に全國軍隊へは大吏を派遣し新君の德意を宣布し銀物及び各種獎章を給與す可と
一、帝政の提唱者　二、帝政の籌畫者
三、帝政の建議者　四、帝政に勤勞ある者
五、大典の籌備者　六、匪亂の剿平者
七、外交の得宜者　八、地方維持の有功者

▲慶賀電相踵ぐ　段兼按使が袁世凱氏皇帝即位承認の慶賀電報を發せしは既報せしが段兼按使の命により張馮范各師長馬吳兩鎭守使各廳道長道尹知事商工農學界何れも相前後して慶賀電報を呈奏したるが中には態々任地より來奉段兼按使を行署に訪問して祝意を述ぶるもあり

▲省債を半減す　曩に段兼按使が各縣に割當て月内に强募せんとしたる省債六百萬元は民間の疲憊と帝政後の增稅を豫想するとにより其後五百萬元に減じたるも猶不評にて應募定額に達するの見込なきにより半額の三百萬元とし官吏には俸給の二割人民には一日地一角を應募せしむるに決定せるが償還期限は三年利息は年六分なり

▲支那新設鐵道　支那政府が新設すべき線路は總計四千百十七哩なるが其の內張庫路即ち張家口より庫倫に至る二千五百哩を最長とし次は甘肅蘭洲より新疆に至る八百哩次は西蘭路即ち西安より蘭洲に至る五百哩次は張綏路即ち張家口より綏遠に至る三百十七哩にして是等は總て明年中に建設に著手すべく決定し居れりと

## ◉東蒙懷德縣
最近の歸客談

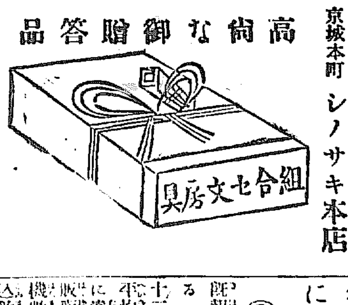
▲一般の經濟界　は本年の豐潤殺きの爲め雜穀搬出に不便勝からざるより大に不景氣を誘致し目下各個人々の信用票の流通も惡しく中には己に居住し居らざる者の殘せし信用票など舞ひ居る事ありて一寸噴飯の思ひするることあり一般に本年は農作物の不良にて大豆なども乾燥非常に惡しく水々しきもの多し小麥高粱なんどは殆ど全滅の有樣にて農民は頻りに悲觀しつゝありされど今後二十日間もすれば道路凍結して相當の出廻りあるに至るべく不景氣も暫時の處なり此の地の滑稽なるは支那官界の役人がモルヒネの密賣をする事なり巡警局の巡長或は區官なんどが上流の紳士紳商と交際を結び居りて密に鴉片モルヒネなどを賣込みつゝありとか支那官憲の腐敗せる事は何處とても同じ事ながらさりとて斯くの如き事を耳にしてはあきれ良き心地せず同地にて大いに耳目を惹くものは

▲佛蘭西人が三名　居住して居る事なり彼れ等は皆宣教師とかにて相當に信者を集め禁酒禁煙を勵行しつゝありと西歐の宣教師が入込み居るにも拘はらず我日本人は東蒙古云々との口實の許に居住を拒まれ現在居住しつゝある四名の邦人も近く何等かの方法を講じて退去せしむる筈なりと云ふを聞くに至りては實に慨然たらざるを得ず、東蒙と云ふは全く歷史上の話にて支那人は同地を以て蒙古とは思惟し居らず支那が地方制度に縣制を採り居るものから此の地にまで縣制を布きて東三省の管轄區域に入れ行政も其れに準じ居るにも拘はらず得手勝手なる解釋を施して御都合よき事のみされては邦人は手の出し樣もなし懷德縣は東部蒙古なれば農業者以外は絕對に居住せしめずといへば昌圖以外は全部東蒙の地域となり居れば邦人の居住する事能はざるに至らずや

▲五穀は年百萬石　を遙かに越え維新前の日本とすれば百萬石の御城下といつた樣な處なり通貨は小洋を主とし官帖も幾分流通しつゝあり日本錢も堂々通用され每日商務總會にて銀市を立て賣買す此地に不思議なるは鹽の產出するといふ事なり氣候地味等が能く其生產に適應せるものならんか現在も栽培しつゝあるものなるや或は野生の物をその儘收獲するものなるや判明せず兎に角鹽を產出するといふ事のみを聞知せるに止まれば他日大に調査して此資用を啓かざるべからず毛皮は張家口と相俟つて東蒙門口の一大市場たり之れが年に依つて張家口に勢力を奪はれまた年に依つて張家口の其れを奪ひ來れり此間何等から密線あるものゝ如し（奉天）

## ◉慶北年末經濟
慶北道全般を通じ年末經濟狀況を見るに曾て大邱金融界は百萬圓に近き遊金を見銀行家は空しく是を抱きて越年せざる可らざる狀態にありしが今や經濟界のリズムも漸く高調期に進まんとする兆候ありて是を昨年の今時に比すれば大に於て樂觀すべき見込あり殊に兵營設置の期待が事實となりし爲め單に大邱よりする景氣を回復する促進力となりたる趣きあり且つ昨年に比し米價の騰貴は方に是れ一般生活に餘裕を與へつゝあるものと謂ふ可し大邱以外の各地は全く米作及び米價の高低に依り地方經濟及び生活狀態を支配さる現狀なれば昨年に比して今年の米高は地方一般に愁眉を開かんとしつゝあり

いま昨年十一月と本年同月との各地米價を比較せば盈德の籾價柴川、開慶の米價を除くの外は（但し大小麥大豆は下落せり）悉く騰貴を示し從て地方生活にも甚大の餘裕を生じつゝあれば今年の旱水害は局部的に多少の損害を與へたれど年末に於ける各地の經濟狀況は一般に好況を傳へつゝあり



高尚な御贈答品
組合七文房具
京城本町　シノサキ本店
京城本町　シノサキ支店

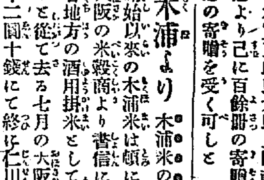

## ◉慶北蓆叺計畫
既報の如く米產地たる慶北道に於ける一箇年間の蓆及び叺の需用額は九十三萬枚に上り此の價格一枚に付き平均十二錢とするも十一萬千六百圓に達す然るに大正四年十二月現在の販賣を目的とせるもの、所持せる機數は千零十三臺にして其の製造見込數二十四萬三千枚にして未だ六十五萬七千枚の不足あり依て是が不足を補ふ可く蓆機の設備をなすには二千五百〇五臺を要するを以て慶尙北道廳は將來の設備に要する蓆機二千五百臺は二箇年繼續事業として設備せしむる事とし是が一箇年の設備臺數千二百五十二臺は地方當業者をして共同購入せしめ蓆機一臺に付き地方費を以て若干の補助をなし二年目に於て現在の叺不足數六十五萬七千枚を慶北道內に生產せしむるに至らば七萬八千八百四十圓の輸移入を防止し需用地方農家に對し新たに副業を授くるに至る可しと期待さる

## ◉平北產繭放賣
本年平安北道各金融組合の手を經て放賣せし繭の數量は二千三百十八石に上り之れを昨年並に一昨年に比すれば非常の增加なるが其の放賣先を聞くに龍山繭糸商行一千六百五十五石朝鮮繭糸商百三十六石內地三百〇九石新義州二百十一石なりと

## ◉慶山通信
衛生組合設立準備　慶山の發展に伴ひ衛生組合設立の要を生じ協議の結果灘井郵便所長を創立委員長となし其筋に設立認可申請せしが不日認可の指令に接すべし▲屠獸場經營　從來慶山屠獸場は個人經營なりしも今月限是が經營權利消滅し來年度よりは新設衛生組合に於て經營すべき方針なりと▲大典記念道路　慶山官民有志は大典記念道路を造らんとて協議中なりしが愈々近日中其具體的發表を見る可く今其大體を聞くに主要なる目的は驛—邑內、河陽に向ふの連絡を取るにありて橋狀より道幅十間にて邑內まで十間幅の直線道路となし兩側に櫻樹を植え長く是を記念せんとするにありと▲穀物近況　內地定期の思はしからざるより慶山穀物市場不振氣配保合の姿なれど前途に年末の決濟期を控へ居れることなれば遠からず氣配も引立る可く豫期されつゝあり目下改良玄米十一圓廿錢內外なり▲小學校記念文庫　慶山公立小學校にては御大典記念文庫を校內に設け教育啓發の資に供せんと有志より己に百餘冊の寄贈あり尙ほ村木寬三郎氏大邱上田獻心氏其他有志の寄贈を受く可しと

## ◉木浦より
木浦米の聲價　木浦米は頗に聲價を上げ大阪の米穀商より書信に依れば重に各地方の酒用掛米として賣行良好なりと從て去る七月の大阪取引値段は十二圓十錢にて終に仁川釜山米を拔き其の上位するに至れり▲最近輸移出檢米　去月二十日の檢米開始以來木浦港より輸移出したる玄米は昨十四日迄合計一萬千二百三十四叺にして內大阪行一萬六百三十一叺神戶行二百九十一叺東京行三百十二叺なりと▲唐辛の叢荷　昨今奥筋より當地に廻著する唐辛の數量は非常なるものにて重にソースの原料として阪神地方へ移出爲し居れり當地相場は百斤に付金十二三圓なりと▲義士會　當地有志の催しに係る義士會は十四日午後七時より小學校講堂に於て開催會員の義士に對する講話冷酒に蕎麥の饗應あり餘興として琵琶劍舞等ありて非常の盛會なりし▲執達吏任命　當警察署巡查部長たりし平田正記氏を今回光州地方法院執達吏事務取扱を命ぜられ去る十六日出發赴任せり


開館披露
常館儀今般大正館と特約の上愈々十七日より開館致候間何卒倍舊の御愛顧御來覽の程偏に奉希上候
日本活動寫眞株式會社特約
仁川　瓢館

銀馬印

手足のかゆみいたみがよくなをる
あかぎれしもやけ根切薬
各薬店に取次あり
本舖　東京日本橋上槇町　安川晃榮堂

浪板洋釘土工用具
石油揮發油諸油
大谷金庫建築金物
消防用具類
和洋ストーブ
◉地方よりの御注文は代金引換を以て迅速に御發送可仕候
京城本町一丁目
諸官衙御用達　佐野彦商店
電話一六三番　振替京城一二〇番

開業御披露
十二月二十日より同二十六日迄開業御披露として定價より
精肉一割引
京町本町三丁目（警務總監部前）
御卸小賣　山口精肉部
電話一七二五番

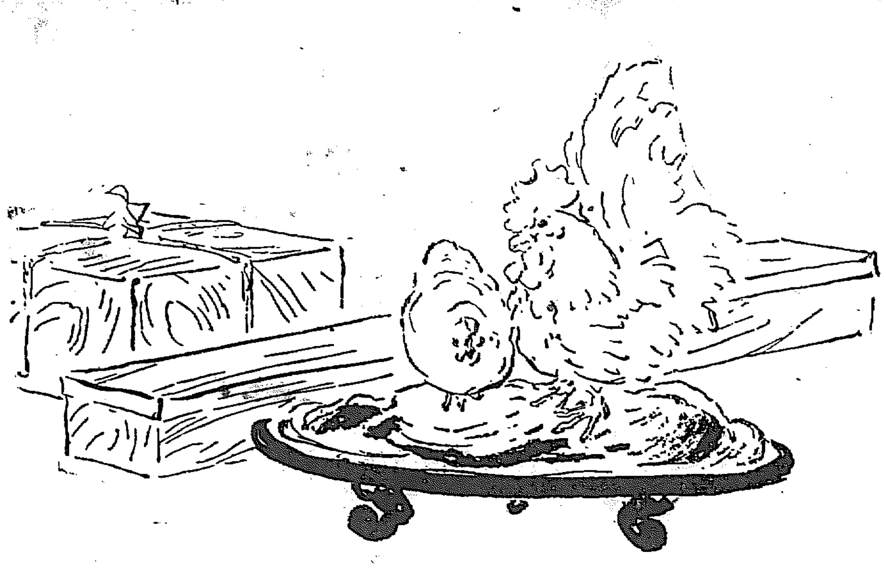
御園白粉
附けて目立たず態とらしくない御化粧をなさるには御園白粉が一等です
東京市芝公園
製造本舖　伊東胡蝶園
東京日本橋[illegible]町
發賣元　丸見屋商店
(34)

# 越後大評定

第七十八席　早川貞水口演

「酒井雅樂頭の斡旋」

そこで勅使河原六右衛門、御大老の御機嫌を覗つて、一日小栗美作の願ひの趣を申上げると『其儀然るべきであらう』と云ふ御言葉が漏れたから其内通を美作の方へ致しました、そこで美作は音物として先祖より傳はりなる小栗宗丹鯉の懸物、この宗丹は足利家の臣にして、周文の門に入り、一家を作した名人で御坐います、それに珊瑚珠の硯、一尺三寸貫金の雌雄の鷄の置物、慶長小判五十枚、是れだけ揃へて、下馬將軍と呼せられました大手前角屋敷、只今大藏省の御坐います所の大老酒井忠世公の御屋敷へ罷り出で、八千石御返納、一萬石にて御召し遣しの儀を願ひ奉る『將軍家へ申上げ、余が計らひ遣はす』と仰せられ、快く御承引下さいまして、一日大老四代將軍家綱公御前へ出で、言上いたしました、當時將軍家は下々で『さうせえ公方樣』と申上げた、大老雅樂頭殿から『斯樣いたします』と言上すろ『雅樂さうせえ』此やうに取計らひます『雅樂さうせえ』何でも彌う爲え』如何いたしませう』『さうせえ』『さうせえ公方樣』などと申上げろから、此御方が御暗君であるかと云ふに左にあらず御明君、實に下々を憐み給ひ、臣下を愛し給ふ、殊に御臺樣は、伏見貞清親王の姫君で賢夫人、然れども、雅樂頭下馬將軍にて當時大老職、四代公は御病身で居せられる爲、御大老が專ら政治を執りました、そこで雅樂頭より越後家の事に就て『附家老小栗美濃守倅美作八千石を御公儀へ返上いたし一萬石を以て徳川家へ直參に御召遣しの儀を願ひ出でましたが、是は其儀御採上げ遊ばして、然るべく存じ奉る』將『さうせえ』と仰せられるそこで雅樂頭他の事を申上げ、御前を退りますと、當時將軍家御後見の光圀公萬一大老一存で事を爲す時は、由々しき大事を惹起さんも知れずと、副將軍で居らせられますから天下の御爲め晝夜御心勞あらせられる『只見れば何の苦もなき水鳥の足にひまなき我思ひ哉』その位に始終御心を注がせ給ふ、光圀公近頃越後の臣小栗美作が、酒井雅樂頭の公用人勅使河原六右衛門を屢々屋敷へ招くと云ふことを、水戸家の隱し目付から、光圀公へ申上げた、どうも不思議に思召し、始終大老へ對し御目を著けて居られると、今日將軍家へ、何やら申上げた、容子を聽くと小栗美作の事を、何か願ひ上げたと云ふ、そこで光圀公與坊主を召されました、吉田良悦と云ふ奥坊主が　良『何御用にて候』光『最早雅樂は御前を退られたか』良『只今御退出になりました』光『雅樂を此席へと申せ』良『ハッ』雅樂頭の所へ參り『御大老樣へ申上げます、只今副將軍樣より何事か御用にて御招きで御坐います』雅『ア左樣か』雅樂頭水戸殿の御詰所へ來て『是は〳〵何御用にて候ぞ』光『雅樂』雅『ハハッ』光『其方には越後の臣小栗美作を公儀へ御召遣しの儀を將軍へ願ひ上げしか』雅『左樣に御坐います』




泌尿器病　入院隨意（診療夜九時迄）
腎臓病　膀胱病　淋病　梅毒　横痃　皮膚病
專問
永樂町二丁目　金光教會隣り
安部醫院　電話四一九番



年末の贈答品には　實用向きな
本場　ちゞみ銘仙
珍柄豐富
京城本町二丁目　ちゝぶや　電話八九〇番


十二月廿一日　九星
舊十一月十五日　丙子
本命　五黄　八方　開先勝


本場銘仙　一反タッタ　二圓八十錢

絹糸の相場が上り本年はテッキリ呉服物が高くなるだらうとの豫測が一般である折柄之れは又嘘のやうな大安賣り所は東京日本橋區本石町一丁目に破格投賣で評判を取つた呉服問屋關谷商店が今回冬物見切り品の中純絹保證節糸織を一反只の四圓同じく新柄奇抜本場銘仙を一反二圓八十錢といふ突飛な投げ相場でハタキ出し同業者を驚かせつゝあるが其の上大見切賣出しの記念として優美な衛生西京西陣の珍柄新羽二重片側女帶地一筋宛を一反の注文毎に無代進呈なすと言ふ全く算盤持たずの亂暴な投げ賣りは到底他店に眞似の出來ぬ處なり因みに地方の希望者はハガキで男女別年齢を記し申込めば柄合親切に見計らひ送料も實費で送る筈


## 演藝案内

**有樂館**　本町一丁目　電話二六六
十二月十八日より新活寫
○新派活悲劇　魔術の彦　全三卷
○泰西正劇　罪ぬる者にし　全三卷
○泰西大活劇　時給　最長尺
○新派　久米の仙人　全七場

**大正館**　櫻井町　電話八七二番
◎泰西人情劇　俠少年　全三卷
○怪奇劇　五月日記女鐵夫　全三卷

**黄金館**　黄金町四丁目　電話二六三七
◎第二女ブラウン　全四卷
大前田英五郎　全三卷

**御成座**　御成町　電話一二九一
死次第權三郎　全四卷
一番目　新　朝顔
二番目　ハッピリ　全七場

**壽座**　本町　電話五七八
新派誠美團一行
十二月十八日替り狂言
雲の響　六幕

**浪花館**　明治町　電話二六〇番
新派讀いオーソリチー京山恭爲一行
▲播州皿屋敷（爲春）▲水戸黄門漫遊記（外に御客樣の御好に依り各入箱抜の節眞似）
御聽に供し候（若春）▲義烈百傑
世物語明治の大賊アラビヤ小僧花川
傳内を捕縛の爲め尚野早川刑事苦心
談▲三部新聞連載高崎土産佐原騷動
以上三席（京山恭爲講演）
毎日午後六時より開演に付御賑々敷御光來奉希候

**壽館**　壽町　電話一〇五〇


約百圓の資本にて一箇月五百圓
純益ある活動寫眞興行が手輕に出來る新案發聲器械
委細説明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町　振替東京一六六八八
大澤商會



酒煙草きらいになる藥
禁酒丸　禁煙液
どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券武錢送れば説明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈
其他名士の
本舖　大阪市靱南通二　森田商店



月やく
月やくなきに御困りの方は
身體に害なく通經する良法御知らせ致す
東京神田錦町三ノ一九　増田けい子



森永の菓子
歳暮御進物

森永　ミルクキャラメル
御進物用　美麗函入（大金一圓　小金五十錢）

森永　ゼリビンズ
御進物用　新裝優美函入（大金一圓　小金五十錢）

森永　萬歳ヌガー
御進物用　新裝優美函入　金一圓

◎其他各種高尚優美折詰め物有之候

▼ニセモノあり此の商標に御注意をこふ

東京　大阪　森永製菓株式會社

蛇印アンチピリン丸
かぜ　ねつ　頭痛藥
早く治る藥　よくキク藥
さむけ出で發熱し頭痛し手足だるく水ばな出る時本劑を服せば不思議の效あり（貳十錢、三十五錢、廿五錢）にせ物あり此の商標に御注意
本舖　大阪　東京　丹平商會

複方疝癪湯
せんき、せんしやく、腰痛の良藥にして必ずきくめあり（各地藥店にあり）
本舖大阪西區西町通二　田村利三郎
一日分六錢　三日分十八錢　七日分四十錢

朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編著
再版　改訂增補
朝鮮不動産登記　朝鮮商業登記　申請書式並心得
▲紙數四百八十頁、代價金壹圓、郵税金拾錢
發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部



百萬金を投ずるも健康は購ひ難し
蜂印香竄葡萄酒は
朝夕一杯宛にしてよく身體の健全を保ち精力の增進を來す
何となれば無限の滋養と其美味とはすべて血となり肉となり力となる
內外の金牌最高賞廿四個受領
元賣　東京本町　近藤利兵衛

元祖　キナコ饅頭　壹錢
元祖　ソバ饅頭　壹錢五厘
京城明治町二丁目（耶蘇教會通）元祖製造元　長崎名物屋


## 尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

| 船名 | 月日 | 時刻 |
|---|---|---|
| 吉丸 | 十二月　日 | 後四時出帆 |
| が代丸 | 十二月　日 | 後四時出帆 |
| 海丸 | 十二月　日 | 後四時出帆 |
| 代丸 | 十二月　日 | 後四時出帆 |
| 有丸 | 十二月　日 | 後四時出帆 |
| 二太湖丸 | 十二月　日 | 後五時出帆 |

仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

## 大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行（群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行の時は五分引にて運賃切符發賣仕候）
仙頭丸　十二月廿六日　午後五時出帆
須磨丸　十二月十九日　午後五時出帆
漢城丸　十二月廿二日　午後出帆

×木浦、釜山、長崎行
○安東丸　十二月廿四日　午後二時出帆
▲城津丸　一月二日　午後二時出帆

○鎭南浦、大連行
安東丸　十二月二十日　午後二時出帆
城津丸　十二月廿八日

◎鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
漳州丸　十二月　日　正午出帆

◎大阪直行
天佑丸　十二月　日後五時出帆

○大連直行
チヨイサン丸　十二月卅日　午後四時出帆
千珠丸　十二月二十日

○清津、浦潮行（元山出帆）
チヨイサン丸　一月七日
千珠丸　十二月廿四日　正午出帆
▲は城津西湖津に寄港

地久丸　一月八日
宮丸　十二月廿八日　午後三時出帆
▲大智丸　一月二日

○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
北平丸　十二月廿二日　午前十時出帆
安平丸　一月十日

御注意
○朝鮮鐵道及び各私設鐵道との聯絡切符發賣仕候
○乘船客は本船出帆約一時間前御乘船相成度候

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番　二五〇
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七八〇

## 朝鮮郵船

京城南大門驛前　京城取扱所　松原運送店（電話一三七〇番）

| 船名 | 月日 | 備考 |
|---|---|---|
| 全羅丸 | 一月三日 | |
| 京畿丸 | 十二月廿四日 | 釜山發 |
| 黃海丸 | 十二月廿八日 | |
| 咸鏡丸 | 十二月　日 | |
| 城津丸 | 十二月十九日 | 元山發 |
| 昌平丸 | 十二月廿三日 | |
| 鏡城丸 | 十二月廿五日 | |
| 忠清丸 | 十二月廿二日 | 元山發 |
| 永興丸 | 毎月廿八回 | 元山發 |
| 江陵丸 | 十二月　日 | 釜山發 |
| 三浦丸 | 十二月廿二日 | 釜山發 |
| 順天丸 | 三日目毎 | 木浦發 |
| 慶興丸 | 十二月廿三日 | 木浦發 |
| 公州丸 | 十二月廿二日 | 木浦發 |
| 信丸 | 十二月廿四日 | 仁川發 |
| 江原丸 | 十二月　日 | 仁川發 |
| 麗水丸 | 十二月廿一日 | 仁川發 |
| 全南丸 | 毎日午前 | 仁川發 |

## 日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行
相模丸　十二月廿七日　正午出帆
高砂丸　十二月　日　正午出帆
竹島丸　一月三日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

## 共同汽船仁川出帆

之栗、大連行　共同丸　十二月十八日後二時入　十二月二十日前九時出
定期船　寶丸　十二月　日
元山出帆　鶴丸　十二月　日　後九時出帆
西湖津沿岸各港を經て雄基行　十二月二十日　前入時
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目　電話一〇八番　山下回漕部
仁川代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

## 汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　神丸　十二月廿一日　後五時出帆
○元山清津浦鹽行　神丸　十二月卅日　後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　宮丸　一月四日　後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　十二月廿三日　後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　十二月廿一日　後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　一月一日　後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　興丸　毎月二回九日廿六日　午後十時出帆
釜山本町五丁目　本船取扱店　大池回漕部

京城日報
二十日朝刊
(第二千九百七十八號)

[illegible]維新成立せる爲め邦人の進出せんとせる者多々ありしが尹知事は上將軍に照會せる結果膠濟線は滿洲に非[illegible]

[illegible]邦人が前編の目的で[illegible]邦人の[illegible]を邦人に借り與へ一箇年[illegible]間の前家賃を取りて其企子を著服しもあり[illegible]くして歩を同地に進めつゝ[illegible]

[illegible]一部理ありて東れに排斥せられ西[illegible]城内には若からぬ程に人家あり尹[illegible]知事は以前交涉局長たりし

[illegible]下同地普通學校の日語科の敎授を爲しつゝあるが更に近々純然たる日語學校を創立せん計劃なりとか此の胡[illegible]

[illegible]要求に依り君主政體を殺して今日の如き國體を造りたるものなるを强みて帝政に復活せんとならば何故前清[illegible]贊成なりと唱へ居れり[illegible]

## ●仁川鐵道廻穀量

十一月中鐵道便にて廻漕せし穀物品別數量[illegible]九百石なり之れを前年同月計二萬七千九石に比すれば三萬九千六百餘石の增加なり

## 放浪漫記

大一瑞

(承前)午後三時山を下り、府城に入り東嶽廟を觀る。廟は古泰山の頂に在り。近古府城內に設く。廟は道敎に屬し、其結構頗る雄大なり。正殿を峻極殿と云ふ。明時の建築にして、支那に見る古建築なり。祀るに東嶽大帝を以てす。即ち泰山神なり。殿壁に歷代封禪の圖を畫く。明時の筆ならん。畫巧ならずと雖も、風致は觀るに足る。廟裡柏樹頗る多し。皆數百年の物なり。中に漢武帝時の樹と稱するものあり。眞僞知る可らずと雖も、乾隆御筆の碑あり。故に當時より此の如く稱せしならん。到底二千年の物に非ずと雖も、千年に近からんか。別に唐槐と名くるあり。中心既に朽ち空洞を爲すと雖も、枝葉猶繁茂せり。周圍二十餘尺にして、或は唐時の舊物なるが如し。この廟裡は歷朝崇祀の故を以て、剪伐の厄を免れ、他に比し頗る古木多し。是れ僅有の事なりとす。翌日曲阜に至る。泰安より二時間の汽車程なり。曲阜驛より十八支那里にして、縣城に至る。縣城北門に近く孔林あり。孔子の墓所なり。北城廟に迄て數百坪に及べり。中に入るに柏樹頗る多く、皆古樹にして、東嶽廟の物に譲らず。又楷樹と名くるものあり。霜葉紅黃色を爲し、美觀をなせり。門を入り進むこと五丁餘にして、孔子の墳墓に達す。之れに近く子貢結廬の跡あり。墳は馬鬣の如しと云ふも、今は通常の圓墳をなせり。前に古柏あり、礎に大楷樹あり。孔子の墳墓と連りて伯魚の墓あり。其前に子思の墳あり。皆雜草茂生陰を沒す。掃除至らず、其狀實に驚くに堪へたり。墓道の傍、子貢の樹あり古楷あり、朽枯して雕幹を存す。園牆の廣漠たる中は、皆孔姓を冒すもの、亂塚にして、孔林と名くるは、孔姓の墳墓なりとす。漢唐以後今日に至るまで、孔姓は皆之に葬るとせば、其區域の廣濶を要する宜なりとす。墓門を出で、城內に入り孔子廟に至る。廟は孔子の裔孫衍聖公府の擘にして、歷代の敎碑林立せり。何故にや皆封を加へ、搨拓を許さず。廟の正殿を大成殿と云ふ。其規模東嶽廟の峻極殿と同じと雖も、更に壯麗を加ふ。外方の柱は皆石にして、雕龍を鏤り頗る壯觀なり。明時の建つる所なるが如し。廟中に孔子の植うる所の檜樹あり。古株より芽生し、數代の變遷をなせるが如し。孔廟を出で顏子の廟に至る。古の陋巷の遺址に建つ。今尙ほ陋巷たり。三千年に近く陋巷の面目を改めざるは國粹保存の極と云ふべし。顏子廟は孔廟の半に及ばず。殿宇破損せるあり、修理至らざるが如し。(十一月七日南京にて)

## 朝鮮の先史民族

八木奘三郎

### (乙)包含層

歐洲の先史時代には洞窟內の古遺跡あり、又泥炭層の遺跡あり、其他水上住居迹、古墳其他の大遺跡甚だ豐富を極むと雖も、日本に見るが如き包含層の高名なるものは未だ其の存在を聞かざるなり、勿論歐洲に於ける前數者の遺跡には石器より銅器に移り、更に鐵器に及ぶ順序を示すもの數多現存するを以て、既に本編の初に記載せしが如き發達順を設くるに至りしと雖も、日本には又斯る實例なく、朝鮮に於ても其迹管て存せざるに似たり。但し今回鳥居君が江原道方面にて實見せし遺跡、即ち古昔アイヌ間に行はれしチヤシコツと城塞に等しき郭內より銅劍の鎔型を出せし例あるやに聞けども、單純なる此一證左に據て、他の凡てを律することは能はざれば、先づ東亞に於ては石器、青銅器の發達順は今日之なしと見て不可なからん。而して茲に所謂包含層は往々朝鮮の諸地方に存する模樣なれども、其狀態は又日本の分と多少の相違あれば左に其概略を一言す可し。日本にては初め貝塚以外の土中に存する先史時代遺跡を土器塚と呼べり。是其の遺跡に貝塚の類を留めざると他には古くより地名に土器塚の名ありて、其場所が偶ま先史時代の遺跡たりし關係上、斯く呼稱せし次第なり、然れども塚の語は高墳の狀を意味するに似て、實際に適せざる例證多きにより、遂に包含層の名を用ゆるに至りしなり、此包含府と云へるは平地若くは山岳の傾斜面に先史時代の遺物を含む場所にして、貝塚以外の遺跡は大抵此部類に屬せり、而して日本の包含層には甚だ深きものあり、又淺きもの有り、包含の範圍は廣狹一ならざれ共、朝鮮の分は是等の狀態未だ明かならず、然れども狀態より推考すれば、今日村落に見るが如き住居ありて、而もホツ立柱の家を建てたるやの觀を存すと云ふ去れば其縱穴住居にあらざりしことは明かにて又是と類似の實例は我九州の南端なる薩隅地方にも往々にして有り、故に彼是の比較は大に興味あると俱に三韓時代の古俗を記せし縱穴住居と相違せるは深く著目せざるも遺物の分量少きと、其包含の範圍狹きとは略ぼ確實なるが如し、唯だ是等の中には未だ管て日本國內に見ざる住居迹の包含層ありて大に注意す可き必要あるによりて次に其略を云ふ可し

朝鮮東部の遺跡狀態を聞くに、高山の嶺を下りて、更に一突起を爲す其尖端及び鞍部に多く存在せりと云へり、而して其位置は眼前に低地を瞰下する好望の地にて、日夕太陽の光に浴し得る場所ありと聞けり、猶ほ此遺跡地が古來樹木の乏しかりしとは其眺望を主とせし點にて推定し得可く、又其遺物は廣さ六七間の間に存在し、更に中間五六間より八九間の距離を隔て、復同樣の散布を見ると云へり、既に斯る小範圍の包含層が點々同一山上に數箇所現存するを得ず、要するに朝鮮の地が古來樹木乏しかりしこと、又其居地が多く山地に在りて常に敵の襲來を恐れしことの如きは其平和安眠の夢を驚かせし狀を察し得て頗る面白しと云ふ可し、蓋し先史時代の研究は單に石器、土器の品種を知るに止まらず數千歲の古代狀態を目前に見るの思ひあらしむるものなれば決して世の弄古家が爲す所の閑事業とは同一視することを能はざるなり

# 新春の京城日報

我社は大正五年一月一日歲の改まると共に更に大活動を開始し專心紙面の改良發展に力を致し面目一新以て讀者に見えんとす

## 新年號七十頁

大正五年一月一日の本紙が如何に面目を一新して讀者に見ゆるかは之を新年號に於て試驗せられんことを望む、紙數實に七十頁敢て紙幅の尨大を以て誇らんとするものにあらず其實質の雄大健實華麗を以て半島大新聞の權威を示さんとす。記事に於て材料に於て寫眞繪畫に於て編輯法に於て正に是れ新聞界に一新紀元を劃するものなるを確信す

## 電報欄の擴張

從來と雖も內外各地の電報の多きは本紙の特色とせる處なりしも大正五年より一層電報欄擴張の必要を感じ內外各地に特派員通信員を增置し電報料を吝まず特殊の材料頻發の事件悉く之を急電に依りて報知せしむる事となせり乞ふ刮目して新春以後の本紙を見よ

## 議會覗き

東京支局　一記者

▲十五日の豫算委員會には福岡縣にさる人ありと知られた的野半介君が奇拔な脫線振りが彊たか笑はせた▲咽喉に濕布を卷きつけた皺嗄聲の開口一番『三井一家の如きは兵役に服するもの迄出してゐないさうである』といふ一風變つた質問▲岡陸相も眞面目臭つて『一年志願は別として兎角金持や門閥の子は身體が弱くて不合格で仕方がないのです』と所謂財閥の子弟に止めを刺して終ふ▲的野君論鋒一轉『日露戰爭の時は長州人に戰死者の少なかつたのは何うしたものだ』と益々奇拔だ▲陸相もこれには病氣を忘れて笑ひながら『成る程長州人には軍人が多い、これは維新の先輩出身の關係で御ザエます、其の代りに長州人は貧乏人ありで實業家の如きは殆んど無いです、私も長州の生れで御ザエますが貧乏だ』と滿場を笑はせる▲午後にも的野君益々例の瞻龍籬を發揮して『頼義、義家、秀吉より下は黑岩周六に至るまで贈位敍勳の御沙汰があり乍ら何故に江藤、前原、桐野、篠原等の人々には其の御沙汰がないか、中にも江藤の如きは……』と征韓論以來の歷史を述べ立て〻▲『薩摩の人は西鄕の墓前に盛んなる報告祭を行つたが佐賀の人は江藤新平の墓前で何をやつたか』と拳も碎けよと許り卓を敲く▲斯く發展すると殆んど止め度はない▲我々は今でこそ大隈內閣の御親類筋であるが是れ迄は常に政府反對の立場にあつて政府の役人と見ると泥棒の如き感じを持つて居た者である大隈閣下のお足のなくなつた時も正面から反對した一人である』と闘蟋疾呼▲委員長氣が氣でなく『何うか質問の要領を……』と注意し鈴木ドクトル君『議事進行に妨害があるから』と敦圍いても▲的野君ソンナことには頓着なく『まだ〳〵これからです』と許り『大倉喜八や市村森左の如きは市井の素町人ではないか、道んな者に授爵の恩典を與へて何故に國家の功臣たる江藤等に恩典が與へられぬか』などと言ひだすので▲委員長又も〳〵注意を加へ鈴木ドクトル躍起となつて進行を促がすなど此處暫く同士打ちの態である

## 日報歌壇

泉花

破れ鍋を叩くが如し詰りをおほらかに持つ君が言葉は
妻てふ名けば〳〵しかりおびへたる心と成りて歲暮を迎へぬ
我が心君に捲かれて何事もうつゝにあらぬ二月が程
たはむれの言葉と知れどあゝされどかにかく弱き女よ我は
詐りと知りつゝなほも詐りの罪を重ぬるこの不埒者
我が心王者の如く高あがりしよむ巷にうそぶきて立つ
離りゆく今日の悲しさ君故に我を忘れし日の戀しさよ

## 日報俳壇

雉子郎選

### 小春

隸に立て落暉戀しき小春哉　三餘
厩掃除馬睡むさうな小春哉　同
小春日や宥屋去にし後の鱗　蘆中子
嫁ぐ子に甚風呂立てる小六月　春陽
意に滿ち染屋復訪ふ小春哉　如泥子
會葬に同じ愁や小春人　東村
香具師誹る香具師の類や小六月　北星

### 時雨

戶一枚閉めて物賣る時雨茶屋　三餘
時雨るゝや船著けば荷は其儘に　同
樹々しゞに國旗時雨て夜明けたり　空川
物干の竹古りて割れて時雨哉　同
時雨晴て一しきり森に小鳥鳴く　涉川

### 冬の雨

半蔀のまゝ暮るゝ家の冬の雨　春陽
籾殼の庭に擴がりぬ冬の雨　同
沙礫砂にまみれゐる冬の雨　南山

### 霜

朝山や橙袋霜に濡る　靑扇
いつの間にか車內我のみ夜霜哉　同
日海を出るや砂に霜薄く　同
霜荒れに追としたる花圃の鷄　橙黃子
窓近く來て鳴かぬ鳥や樹々の霜　同
心怖ぢて辭し去る門や夜の霜　同
友柚の死に霜夜居る面かな　東村
嫁くをも本意なく桃ゐる霜夜かな　同
霜凪ぎや街眞直ぐに溫泉町　如泥子
霜凪ぎや洲廣々と川空し　同
鍵失せて門に佇む霜夜かな　雲帝
霜踏む草鞋粗鞋しき首途かな　同
山河未だ眠らねど霜の威高し　鵬谷
初霜や夜干のまゝの糊錠　同
霜凪いで鯱すや旭うらゝ　豫洲
更けて尙便命巢さず霜の徑　韮城
荷揚場の薺荷の霜や船眠る　靈巢
旭に向ける鷄舍開くや霜の畑　礁川
初霜や紅葉もせず枯るゝ葛　蘆中子
追分の標杭古りて霜白き　ふの字
坐蒲團の溥れ重し今朝の霜　山民
寢鳥立て子は怯え泣く夜霜哉　雉子郎
待つ宵の友あらぬ驛や夜霜哉　同
汽車止まれば皆覺めし霜の湖邊哉　同
霜野出る旭提灯も消さで見て立ち　同
門しめて灯明しと見る霜夜哉　同
霜の茶屋馬も糞しものを喜べり　同

大正五年一月號　正月號
附錄　附錄　出
新年　繪噺
定價一册金六錢　送料五厘
教育的で僞がなく安くて面白くて子供のすきな繪雜誌
○東京市牛込區甲良町二十三番地　○振替東京一七〇五

本年掉尾の大文字を滿載す
實業之日本
□奮起の秋　增田社長
□授爵せられた實業家銘々傳……寒山生
□書生の秘訣　浮田博士
□御即位記念各府縣の事業を列擧す
□郵船會社新副社長　猿面冠者
□米價の應急調節策……教授
△貧乏道の大德　鉛堂生
□早稻田大學教授評判記(つゞき)
□心盡しの贈物……新渡戶博士
□放蕩息子を勘當する可否……寺田文學士
□向ふ鉢卷が欲しい
□婦人の多い同氣俱樂部のぞき……男爵　森村市左衞門
□收穫倍增麥作法(農家必讀)……武
十二月十五日發行　一册壹拾錢　郵稅壹錢五厘　半年一圓七十錢　東京京橋　實業之日本社

伯林大學教授グスターフシユモラー博士原著　文學士山田伊三郎先生譯補
◀最新刊▶
國民經濟學原論
第六冊(運營之部)菊判四百八十頁　定價金壹圓六十錢◎郵稅十二錢
本冊は資本、勞働者階級問題解決の大斧斤にして資本、銀行制度、勞働者問題に關し廣く引證し深く觀察し之に健實なる判斷を下し、以て世運に資する所あらんとす。本書の期する點正に是れ
◎第一冊(概論之部)價金壹圓六十錢　◎第二冊(要素之部)價金壹圓五十錢
◎第三冊(要素之部)定價金壹圓四十錢
◎第四冊(組織之部)定價金壹圓六十錢
◎第五冊(運營之部)定價金貳圓十錢
東京神田　富山房　振替五〇一

日本より　夜間營業開始
歲末年始の御進物として最も適當なる品
三越の商品券
東京、大阪、大連、京城の各店共通にて一円以上何程にても發行仕候
(越)　京城　三越吳服店　電話三五三番

購買入札
一　牛體溫器外七點
右購買入札希望ノ者ハ本日以降ノ總督府官報ヲ見ルベシ
大正四年十二月十二日　警務總監部

卒業生諸子ノ現住所不明者多ク整理上困難致ス事不少
各學年缺員アリ入學御勸誘ヲ乞フ
私立京城女子技藝學校　同校長　井上要二
南大門通　電話一七八九番

MEP　名譽大金牌　ゴムマリ
大阪市南區炭屋町四番地

大正五年度日記御案內

| 書名 | 發行所 | 製本 | 正價 |
|---|---|---|---|
| 當用日記大形 | 博文館 | クロース | [illegible] |
| 當用日記中形 | 同 | クロース | [illegible] |
| 當用日記中形 | 同 | 背皮 | [illegible] |
| 當用日記長形 | 同 | クロース | [illegible] |
| ポケット日記A印 | 同 | 總皮 | [illegible] |
| ポケット日記B印 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| ポケット日記C印 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| ポケット日記D印 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| ポケット日記E印 | 同 | [illegible] | [illegible] |
| 當用日記小形 | 同 | クロース | [illegible] |
| 當用日記大形 | 積善館 | 背皮 | [illegible] |
| 當用日記大形 | 同 | クロース | [illegible] |
| 當用日記中形 | 同 | クロース | [illegible] |
| 當用日記小形 | 同 | クロース | [illegible] |
| 實用ポケット日記 | 同 | クロース | [illegible] |
| 懷中日記 | 同 | クロース | [illegible] |
| 懷中日記 | 同 | クロース | [illegible] |
| 懷中日記 | 同 | クロース | [illegible] |
| 懷中日記 | 同 | クロース | [illegible] |
| 懷中ノート | 博文館 | クロース | [illegible] |
| 當用日記大形 | 實業之日本社 | 總皮 | [illegible] |
| 當用日記中形 | 日本社 | 總皮 | [illegible] |
| 英文懷中日記 | 同 | 皮 | [illegible] |
| 英文當用日記 | 文館 | クロース | [illegible] |
| 修養日記 | 東亞堂 | クロース | [illegible] |
| 婦人日記 | 實業之日本社 | クロース | [illegible] |
| 重要日記 | 日本社 | クロース | [illegible] |
| 國民日記 | 同 | クロース | [illegible] |
| 標準たる日取札 | 民友社 | 箱入 | [illegible] |
| 同 | 新橋堂 | 箱入 | [illegible] |
| 家計簿 | 同 | クロース | [illegible] |
| 吾家の歷史 | 婦人の友社 | クロース | [illegible] |
| [illegible] | 警醒社 | [illegible] | [illegible] |

京城本町二丁目　嚴松堂京城店　振替京城二四五四　電話一六六

# 歐洲大戰亂

## ▲波斯愈蹶起す 獨墺土側に加擔して

テヘランよりの報道に據れば波斯政府は愈々獨逸の威嚇に堪へずして同盟側蹶起を承諾したり而して十五日其兵は若干の獨逸工兵と混成してメソポタミヤよりハマダンに出で既に高地を占領し工兵は獨逸六軍南下の準備として各種の任務に服しつゝあり加ふるにバグダット附近の英兵は悉く撤退し要影無きを以て波斯を防禦するは重に露國に依るの外道無かる可しと(紐育電報)

## ▲米國對墺再通牒計畫

華盛頓來電＝國務卿ランシング氏曰くアンコナ號撃沈事件に關する墺太利の回答は米國の要求に對し何等譲歩する所無し然し米國は更に墺國に對し通牒を發す可く計畫中なり(紐育電報)

## ▲英新兵入隊

ダービー卿の募兵計畫に依り募集せられたる四種の新兵は今回愈入隊を命ぜられたるが之れ等の新兵中には年齢十九歳或は二十歳の未婚壯丁多數なり(倫敦電報)

## ○黎元洪册封と授爵

北京來電に依れば黎元洪を親王に册封するは遠からざるべく又宣統皇帝を親王に段祺瑞及び十數名を公爵に其の他二十餘名を侯爵に爲すべしと(東京特電)

## ○滿蒙西藏優待 續報

滿蒙西藏優待條件は從來の憲法に準據して繼續有効とし前清郵電部尚書たりし陳璧を參政官に任命袁世凱氏の古き同僚先輩及び友人は臣と稱する勿れとの申令出づ(北京特電)

## ○支那參謀總長任命

馮國璋を參謀總長に任じ著任迄居仁龍を代理せしむる旨十八日附にて內令出づ(北京特電)

## ○與黨決議 彈劾案に對して

政府與黨各派及び新聞記者有志は野黨の彈劾案に對抗して政府黨の氣勢を張るべく十九日午後二時より東京ホテルに會合を催ほし左の決議を滿場一致にて可決せり(東京特電)

歐洲の戰亂未だ局を結ばざるに亞細亞も亦紛亂の兆あり帝國の運命は係りて之れに處するの態度如何に在り吾人は天祐ある帝國が他日平和克復の大原動力たることを信ず仍ち倍々國威を發揚し其の天職

## □大丈夫だよ

武藤金吉氏(政友)が大隈首相に暴行を加へ議場の大混亂を來し危く大臣室に避けたる首相曰く『大丈夫だよ之れしきのことに』と莞爾として大元氣なりき(東京特電)

## ○政友會躍起 首相の言動を難ず

政友會にては十八日彈劾案討議の際に於ける大隈首相の言動は明かに黨の名譽を傷け恰も國權を紊る不逞の臣と爲すものにして斷じて不問に附する能はず飽くまで其取消しを要求し若し容れざれば再び之れに對する彈劾案を提出して天下に見ゐん決心なりと敦圍き居れば同問題に對する今後の態度は注目に値す(東京特電)

## ○林氏等懲罰委員に附せらる

十八日衆議院に於て林毅陸氏(無所屬)提出の彈劾案を採決したる後前田又一(同志)武藤金吉(政友)小林源藏(政友)鹿岡宇一郎(政友)春田[illegible](政友)岩本平藏(政友)鳩山一郎(政友)の諸氏を懲罰委員に附するの動議を提出し多數にて成立又松田源治氏(政友)は富田幸次郎氏(同志)外十數名を懲罰委員に附すべしと提議したるも少數にて否決となれり(東京特電)

## ○淺間還る

南洋に於て横暴を極めたる獨艦ガイエル以下獨逸極東艦隊驅逐の重任を帶びて活動中墨西哥沿岸に擱坐せる帝國軍艦淺間は十八日無事東京灣頭に其雄姿を現はせり(東京特電)

## □富田君曰く

武藤金吉氏暴行事件に關聯し首相防禦に當りたる富田幸次郎君曰く『非政友會側の人を引留めようとしても下埜安太郎君(政友)が極力反抗するのみならず矢村忠治君が邪魔して思ふ樣に働けず頭は叩かれる足は引張られる、見給へ着物が此の通りだ』と元氣に話つた(東京特電)

## ○取引所總會 活劇

大阪株式取引所に於ては十九日株主總會を開き年一割四歩配當案を附議したるに株主泉榮氏より有價證券部勘を計上し增配せよとの修正説出でしに對し理事長高壓的に議事を進行せんとしたれば泉氏外三名議長席に威迫し猿臂を延ばして卓を覆へし活劇を演じたるも遂に原案通り可決したり(大阪特電)

# 雜報

## ○咸南海面の薄氷

咸鏡南道沿岸一帶は十八日以來氣溫氷點下十五度に降下し海面に薄氷を帶ふ(元山特電)

## ○前清室の移轉

前清瑾太妃は大總統袁世凱氏が全國々民代表の推戴に據り中華帝國皇帝と爲れるを以て從前通り宮內に起居するは名實伴はずとし今回頤和園に移れりと(北京)

## ○開國記念章 制定

大總統は國體已に變更し新君主久しからずして登極することになれるを以て其登極と同時に左の資格を有する人々に均しく開國記念章を給與する外分別加爵進秩する希望ありと一支那紙は記せり(北京)

(一)帝制の提倡者(二)帝制の贊助者(三)帝制の建議者(四)帝制に勛勞ある者(五)大典の籌備者(六)匪亂剿平者(七)外交に關する功勞者(八)地方維持有効者

## ○勸業成績概況 地方費支辨事業

地方費を以て支辨す可き費目は土木費、勸業費、衛生費、救恤費等なるが其內最も主腦事項たる勸業に關する成績の概況を聞くに、施設事項の種類は甚だ多きも就中主要なるものは普通農事、蠶業、林業、畜産、水産及び工業の改良發達を圖る可き各種の施設なりとす、普通農事に關する施設としては種苗場を設け一般農事の試驗及び調査を行ひ採種田、模範田、又は作物を選きて種子を採取すると共に栽培の模範を示し巡回教師を置きて實施の指導を行ひ米、麥、大豆、馬鈴薯、甘藷等の種子を配付して改良種の普及を圖り鍬、鎌、稻扱、籾摺臼、唐箕、萬石、篩其他の農具を配付し、若くは其購入に補助して耕作又は調製の改良を勸め又一面▲灌漑設備改善を促がす爲め溜池の調査を行ひ且つ經費を補助して之が修築を奬勵し、其他副業餘業の奬勵として果樹の栽培、蓆織、繩叺製造等の事をも力を用ひ、蠶業に關する施設としては蠶業講習所又は傳習所を設けて栽桑、養蠶、製絲、蠶種及び蠶具製造方法等の傳習を行ひ巡廻教師を置きて實地に就き指導し桑苗を配付して栽桑を奬め蠶種を配付して其統一と改良を圖り共同飼育、稚蠶共同飼育、殺蛹、乾繭、繭共同販賣等に關する施設を補助して之を奬勵し、林業に關する施設としては林業苗圃を設けて樹苗の育成配付を行ひ模範林を設けて植樹の範を示し又林産製造の奬勵として製炭傳習、椎茸栽培指導等をも行ひ畜産に關する施設としては種牡牛を配置し又一面民間優良牡牛保護の方法を講じて畜牛の改良と蕃殖とを圖り種鷄種豚を配付して鷄豚の改良に資し水産に關する施設として漁撈漁具製作或は水産製造の傳習を行ひ一面漁船漁具を配付し、若くは其購入に補助して事業の改良發達を圖り、工業に關する施設としては機業、製紙、製麻等の傳習を行ひ又は特に教師を置きて是等の實地を指導し其他機業、製紙業、陶器業、漆器業、製革業、金工業、石器業等に對し器械器具を配付し若くは經費を補助する等の方法に依り諸工業の改良發達を期せり

## ○柞蠶業と補助額

風土の善用上柞蠶業は朝鮮中部以北の地に適せるを認め總督府にては從來勸業模範場をして柞蠶業に關する各種の調査研究を爲さしむると同時に年々多數の柞蠶種を無償配付せしむる外相當の設備を有し柞蠶の模範飼育に從事せる者又は製絲傳習を行ふ者に對して補助金を交付し、以て斯業の奬勵に努めつゝあり、又地方廳に於ては地方費又は授産費を以て柞蠶飼育又は製絲に關する講習を行ひ、と同時に柞蠶飼育組合若くは作蠶の製場を設置せしめ、或は其生産品の販賣に對する斡旋を怠らざる等斯業の發達に盡しつゝあり、以上各種の施設に伴ふ總督府及び地方廳の總經費は明治四十三年度七萬八千八百二十七圓、四十四年度三十五萬千六百八圓、大正元年度三十八萬五千二十圓、大正二年度四十萬二千四百六十八圓、大正三年度四十九萬二千五百九十二圓、大正四年度五十萬九千九百十二圓にして併合以來本年度迄の總支出額二百二十二萬四百二十五圓に達せり

## ○朝鮮畜産狀況 模範場の試驗成績

朝鮮畜牛の改良に關しては朝鮮在來種中優良なる牡牛を精選して之を種用となすの必要を認め勸業模範場に於ては種牡牛十數頭をして明治四十四年度より一般種付の需に應せり、其成績佳良なりしかば農民は漸次種付の必要を了解し進んで種付の需を求むるものゝ多きを加へ、又同場にては雜種牛の該土に適否を試みむが爲めシンメンタール種、エーアシャー種を飼育し一は乳牛改良に、一は役牛改良に資せむとし試驗する所ありたるに何れも頗る好成績を示せり、尚ほ豚種改良に關しては明治四十年以降バークシャー種を用ひて種豚を繁殖せしめ廣く之を配付し、其繁殖を奬勵し來れり而して成績は頗る佳良なるを以て種豚の配付を要望する者も漸次增加し模範場にては爲めに全部の要求に應ずる能はざるの狀況にあり、又山羊はマルタ雜種を奬勵せんとしたるも其成績明かならざるものあり、爲めに未だ多くを配付するに至らず、依て目下は泌乳性に富めるザーネン種を飼育し試驗を續行しつゝあり、鷄としては名古屋交趾種及び横斑プリマウスロック種を配付して鷄の改良を圖りつゝあり、此二種は能く朝鮮の風土に適し飼育容易にして在來種と同一管理の下に良く肥育し得べきを以て近來各地共著しく蕃殖を見るに至れり、綿羊に關しては數年來メリノー種、シュロップシャー種を試育せるも疾病に罹され易きを以て未だ大に之が飼育を勸奬するに至らず故に大正元年度より牧羊場を江原道平康に設け蒙古羊を輸入して之が飼育を試みつゝあるも日尚ほ淺きを以て成績未だ明かならず但し洋種に比せば將來望を囑するに至るものゝ如し

## ○古蹟圖譜刊行 第二編は明春早々

總督府にては古蹟調査の成績を汎く世上に紹介すると共に文藝學術及び美術の考料に資せしが爲め朝鮮古蹟圖譜刊行の計畫を樹て大正三年度樂浪、帶方及び高句麗の諸古蹟を收め第一編を出版したるは世人の知る處の如し而して其効果の如何は刊行後日淺きが爲め未だ明言し難きも文學術及び美術の爲め貢獻したる所尠からざる可く本年度に於ては百濟、任那、沃沮、濊貊等の各小國を始め新羅一千年間の遺物と高麗初期迄の遺物を撮影したるものに就き刊行する豫定計畫なりしも收蒐す可き資料多くして一箇年の範圍を以て刊行すること能はざるを以て本年度に於ては新羅時代の分を見了し明春三月迄には刊行の運びに至る可く大正五年度に於ては引き續き高麗朝約五百年間の遺物を撮影したるものを出版す可しといふ

## ○新舊議員親睦會

京城會議所總會は既記の如く二十日午後二時より開會の筈なるが同日午後六時より花月に於て新舊議員及び特別議員の大親睦會を開會すべしと

## ○仁川鮮人醫會設立

今回仁川府內鮮人開業醫師にて仁川鮮人醫師會なるものを設立し本月十九日午後二時より仁川東本願寺內に於て創立第一回總會を開催し會長以下役員の選舉を行ひ尚會則其他に就き討議する處ありたり

## 人事消息

▲高橋章之助氏(辯護士)十九日入京朝鮮ホテルへ投宿
▲服部仁七氏(同上)同上
▲熊本利平氏(實業家)同上
▲有馬組二氏(同上)同上
▲ハリエ氏(宣教師)同上
▲メキス氏(同上)同上

## ○大阪より

### ▲事業企畫一瞥

我國の歐洲大亂によりて受けたる打撃中最も深甚の影響あるものは金融界の趨勢なるべし戰亂勃發當時の事業は萌芽を地中に潛むること茲に久しく資金の需要起らざる爲に東西兩部の遊資は九千萬圓と唱へられしも軍需品の輸出增加は政府の[illegible]貿易關係は出超相踵ぎ七千萬圓に千萬圓に達すべく正貨は一億六千萬圓に加して戰亂中は勿論其終熄後に於ける財政經濟の適當なる措置は官民の努力せざる可からざるものなるが個々之等有力の材料にて株界は明治四十年の日露役後自然各種の事業發出したる往時と勢態た活躍を呈しつゝあるが其事業との中堅に立てる一騎を興ふるも興味あり戰爭に永續を望める昨今の狀勢は金融の緩漫なるも敢て悲觀を要すまじく次に示せる昨年戰亂勃發當時と本年の同期との工業企畫とを對照比較すれば日露戰役後電氣、電鐵、水力の勃興に反して造工業の盛なるを知し得られて斯業の上に一新面目を呈したるものあるを想像し得べし歐洲戰亂の終熄後と雖も遽かに歐洲品の殺到に遭遇して斯業沈衰を來すの憂は當業者の努力如何によりて除却さるべく暫らく建設時代

### ▲日露暗號電報

日露間の電報は英佛露の三國文字を使用し居るも戰亂以來は一切暗號を禁止され居れるやにて本邦著電に多大の不利益なれば相當處決ありたき旨當地三井物産に同地より入電ありたり

### ▲仲買破産續出

大阪株式取引にては成金續出の一面商況破りなどにて往生せるものあり僞めに大阪地方裁判所民事第三部破産係は多忙を極め居れり昨今株式仲買店六十軒の內二十餘軒は氣息奄々の狀態にて一軒に約五件の訴訟と見ても約百件あり其中尤も多きは高田勘次郎氏の二十數件吉田信次氏の二十件より松井伊助氏は三百萬圓の負債にて昨今整理相談中なるが不思議にも破産申請少く僅かに二三軒に過ぎず今南京破の仲買店を舉ぐれば松井、商勘、吉田を初め上野榮太郎、大塚善藏、田淺次郎、瀧川竜助、岡本友三郎、松本竹砂久次郎、渡邊市兵衛、須藤次、加藤太次郎、八田兵次郎、豐田喜三商店にて此外續出の有樣なり

### ▲佛國債應募盛

神戸在留の英佛人は過般英佛聯合軍がシャムパーニュー大捷以來大に元氣づき今回佛國政府にて發行する價格八十七法二十五サンチームの國防公債は進んで應募し英米日露の各國人も續々申込み中の盛況なり十五日迄に正金神戸支店に申込みたるもの千六百萬に此の總額面十三萬法に達せし殊に佛國領事シャルパンティエ氏の令孃令息初め少年少女●●●愛國心に驅られて銀行に赴き申込みたりと

### ▲日露貿易不振

日露鐵道連絡輸送開始以來大阪驛より京釜、東淸鐵道に依り哈爾賓地方及び露本國に積出る、貨物漸次日々三百噸に達する盛況を呈したるに近來對露爲替の暴落の結果銀行側割引を拒絶し貿易業者は豫期せぬ打撃を蒙りたる爲めに同方面への積出貨物は頓に減少して昨今にては僅かに七八十噸に過ぎずと

### ▲日露小包調査

大阪商業會議所にては現行の日露小包郵便は萬國郵便交換條約に依りてせられつゝあれど目下露國に對する貿易品の輸送方法として單に小包による外手段なく而かも日露日佛日加等の如く特定の條約なきを以て著しく制限せられ而かも代金引換の便法なき上料率も先般引上げの結果本邦より露國へ發送するものは[illegible]よりするものに比し約九十錢も高率なる等の不利益ありて貿易上不便尠からずとし之が改正方法を其筋に開申すべく不日商業會議所の議に附すべしと

## ○陳の散じた軍資

十五日入港の郵船博愛丸で上海から歸った[illegible]散じた費用は全部で十二萬四千餘圓であるとの事で[illegible]に著しく惱まされるに相違ない現に馮國璋の率ゆる南京駐在軍の如き支那皇室の禁衛軍であった因係か[illegible]尠くないが楊善德氏を狙ふ革命黨員は日本志士の如き[illegible]習慣を持って居る從って官憲が如何なる網を張って之れを[illegible]成功した例がない、五萬圓の賞を懸けたからといって政府がこれを完全[illegible]資金の如きは主として是對の人々から提供されて居る筈だから彼も身を[illegible]

[illegible]下之れが府制草稿中の由なるが其組織の大體に就て聞く所に依れば同府には大元帥、副元帥の外に四元帥を[illegible]

## ○支那辯護士廢止

過日章司法總長より提出せられたる[illegible]


# 京日案內

◎普通 一回前金三十錢(二割引)一行五錢增

◎貸金 月收の御方へ小口信用秘密融通御一報次第伺上候 京城大和町三(不老湯橫丁)◎赳木屋 132

◎男女募集 年末無爲に困しむ者來れ即日より收入ある好業授く ▲不老● 175

◎佛國教會下通り

◎店員募集 年齡十八歲より廿五歲迄の者市內に確實身元保證人要す ▲京城龍山榮町 ▲中島商店 178

◎番外 一回前金六十錢(無割引)

內科 兒科 胃腸 呼吸 專門 京城本町二 壽町元中島病院跡(入院隨意) 山田醫院 電話二八〇番 81

開始 人力車帳場 京城永樂町二 人夫請負引越荷物其他御依賴に應ず 電話二六八九 岡本組 164

公證人 京城永樂町二丁目十七番地 山邊勇輔 電話二八四〇番 64

皮膚病 花柳病 專門 永樂町一丁目商品陳列館坂の上 須古醫院 電話二一〇二番 90

◎質 ○秘密を守り精々勉強 ○仕切り親切に取扱申候 黃金遊園前電車停留所橫入 金子質店 電話二一一二番 96

梅毒 肺結核 產婦人科 內科外科 黃金遊園前電車通 上野醫院 ◎診察夜九時迄 ◎往復電車賃の御負有 電話二九三四番 97

恩給 年金 無擔保 低利 長期 立換 短期 不便法あり其他擔保信用貸仕候 京城南大門外 山口屋 98

質 京城黃金町二丁目(永樂町停留所北入) 堀佐營業所 電話六三九番 135

開始 ◎葬儀舍は葬具全部新調便利に且葬具料極低廉に御相談仕候 若草町七〇 一葬儀舍 電話三二六番 136

監獄製造 椅子 火鉢 堅牢 洋家具 新案 專業 京城 松浦所 黃金町二長橋通り ◎電話三三五九 154

年の餅 ◎賃搗 賃搗內搗の求に應ず 京城旭町一丁目 一六軒 電話二二八一番 165

▲古着古道具類 一般 右は相當價格を以て買受候 旭町一の廿一 クヅ谷商店 電話一八二一 133

◎廻員至急入用 廿歲以上廿四歲迄市內確實保證人二名要す 履歷書携帶本人來談に限る 大平通▲遠藤味噌醬油小賣部 183

◎腦胃子宮病治療 多年有經驗 特得マッサージ術 ◎旭町三の一 ▲三越前町 長生堂 電話取次二四五七 181

◎年賀用 寫眞入十二枚壹圓 意匠商肖像 ◎寫眞かき 翠渡し 地方御注文は御持合寫眞一葉前金添へ被送度し但卅日迄で 南大門通三 電話一〇四〇 京城寫眞館 180

忠州 行牛車貨物取扱開始仕候 到着迅速運賃廉確實取扱候 京城鍾路五丁目 酒井運送店 ◎振替三三八九 ◎電話三三九一番 179

# 歲暮大賣出し！

十二月六日より 同三十一日まで

福引 景品付

副景品として 御大典記念スタンプ貯金壹紙壹千枚を呈り進呈仕候

京城本町 山口吳服店 電話〔三九番 三九番〕

て頑強を示したといふことであつた自分の聞く處によると陳其美が
●●●が愈々現實にされた場合には國民は勿論各所に蜂起する革命黨員の爲め
●●●ある馮氏は大に持て餘して居るやうだ▲上海には陳其美氏を狙ふ官憲も
●●●あるのだが一旦風雲に際會するこ直に起つこいふ
●●●實である、從來政府が懸賞方法を以て革命黨員の首を探した例は多いが
と信ずる陳其美氏は上海の上流社會には隨分親友を持つて居る今回の軍

大總統は國基を鞏固にせんとの見地より近々元帥府を置くべく計畫し目下
廳として統率所は總務廳として同府内に併合するに至るべしと（北京）

# 新宮の御健やかさ

## 母宮陛下の御乳＝兄宮殿下の御訪問

青山御所の御産殿に在ます皇后陛下と新宮殿下に於かせられては霜凍る此頃の寒氣に御産後の御經過如何と青山御所に東久世主事は襟を正して語るらく「陛下には未だ御産殿を離れさせ給はざるも御産後の御經過は頗る御良好に渡らせられ御産後一日間を過ぎざる今日些の御疲勞の御樣子もなく殆んど御平常の狀態に復させられて御氣色も美しう御褥の上に起き上らせられて御付の女官を召させられ四方山の御物語ありて御無聊を慰ませ給ふなど御健勝に渡らせらるは目出度極みにて廿日目には必ず御産殿を離れさせ給ふべしと拜せらる御食事は侍醫が一々注意を加へお粥にでんぶ若くは牛乳、スープ等孰れも消化よく滋養に富める御食品を差上げつゝあり、又澄宮殿下には五間隔たりたる御部屋に在らせられ四時間毎に陛下の御乳入角田こと子のお乳を交る〴〵差上げ數名の看護婦は交々徹宵にて御注意申上げ居れるが御健勝に渡らせられ御體量も日々に增加あり御泣聲も力ありて御氣色麗しく拜し奉り近侍の人々も一日々々御健かに生立ち給ふを喜び合へり尚皇太子殿下及び淳宮高松宮の二皇子殿下には過日二回御所に成らせられ澄宮殿下の御模樣を問はせ給ふは御兄弟の御情さこそと拜せらる」云々

# 日本に新藥が續々と出來る

## 内國製品奬勵の効果著し

歐洲戰爭の結果に伴ふ外國製劑の輸入拂底に對する政府の内國製品奬勵と輸入品防遏の二大方策の下に斯道の諸博士碩學必死と試驗を重ねた結果獨逸製藥に劣らぬやうな新藥が續々市場に出づるやうになつた

■先づ第一に 東京高輪病院長瀬脇ドクトルと鎮目藥學士の手に出來た『ピノザリン』を筆頭にして長井長義博士のコカイン代用品『アルカイン』西崎博士の『プロムラール』鈴木農學博士の六〇六號代用品『アルセミフール』ラジウム商會醫學士吉澤惟雄氏が

■日本産阿片 から抽出した『ナルコポン』等であつたが今度また吉澤醫學士百方苦心の末發見された『吉澤氏カルヂウム』が出た是等は孰れも立派に成功したもので將來決して外國品の輸入を仰ぐ必要はなく尚斯の種の新劑は續々と出づべく期待されてゐる是等は戰前主として

■獨逸から輸入 されたもので年々百萬圓以上の輸入額となつてゐたが尙ほ一歩を進めてキニーネ、コカイン、乳糖、蓚酸セリウム、サントニンズルフオナール等の代用劑が發見されたならば將來の日本の製藥界は嶄然として頭角を抽んづるに至るであらう尙ほ吉澤氏カルヂウム製劑は

■最も注目す べきもので獨逸ロイフ博士の如きは數年前人間の體質の虚弱になるはカルヂウム鹽類の不足な爲めである獨逸國民は宜敷之を常食とすべしと唱道してカルヂウム麵麭と云ふを拵え目下獨逸人は盛に之を食べてゐる然るに此劑は非常に飲み苦いのを苦心の結果理想的のものを拵えたのである特筆すべき成功と稱すべきである

新入兵の京城見物

# 新兵さんの京城見物

## 電車の停電まで氣納した御注意

十九日の日曜は龍山の三十五聯隊の新兵が着隊第一日目の休日と云ふので八百餘名の新兵さんは其々各中隊の教官に引率せられて寒く又忙がしい年末の京城市中を見物して歩いたが無論著隊して間のない事だから銃は擔いで居ないが外套の上に劍の付いた帶皮を締めた姿は健氣にも勇ましく見えた、兵營を出て水道町から漢江通りに出ると『之れが京城龍山を往來して居る電車である、自由外出の際此電車の便を借るのは隨意であるが、時に停電することがあるから京城から電車に乘つて歸る際は徒歩で歸れる時刻と同じ時刻に電車に乘らないと停電の際には門限に遲れる事がないとは限らない、注意して乘れ』規則を守る兵隊さんの用意として尤もな心掛けだが傍觀者には皮肉とも聞える『之れが南大門驛で彼れが有名な南大門だ』と説明しながら雜沓する本町通り、黄金町から鍾路と重だつた所を見て午後四時に歸隊した、新兵の京城見物に就いて一教官語つて曰く『内地の當聯隊所在地には電車が未だ通じて居ず復雜な京城の市街は日本内地の市街に較べると多少趣きを異にするものがありますから、無暗に自由をさせますと兵隊の迷兒が出來ぬとも限りません、内地では新兵は大抵一度隊を揃へて市街の見物に行けば直ぐ其次から自由外出をさせますが京城では二三度教官が連れて見物することにして居る、電車の如きも黄金町邊で門限時間一杯に乘つて途中で停電に遭つて門限を遲くらかした例もあるから乘物の便を借るにしても徒歩の時間の餘裕を置いて歸へることに敎へて居る』

# 歳末贈答品

## （一）競争で大賣出し

歳末が愈よ押迫るに伴れて市中の景氣は一層引き立つて來た、殊に京城寳商店の中心街たる本町通りには各戸競うて歳末大賣出しを開始してゐるが本年は一般に

■景氣が好くて 年末贈答品などの捌け口が盛んなやうである、三越吳服店では十九日の夜から夜間營業を開始して愈よ歳末の人氣を此處に聚めようと大車輪であるが先づ吳服類では御婦人向きとして新流行の錦紗御召などが

■よく賣れる 値段は普通廿圓から廿二三圓の處であるが男物には花園紬、綿文織、桑蠶紬等の廿圓前後の物が捌ける、婦人用半襟では染物の五六十錢から一圓、ミシン刺繍の一圓乃至一圓五十錢、手縫刺繍の二圓乃至三圓位のものが可く

■袱紗は縮緬 の小幅で一圓、中幅で一圓四十錢位、小供のちやん〳〵では二三歳の嬰兒用に仕立てたものがモス友禪で一圓乃至一圓二十錢、米澤琉球で二圓内外縮緬で五圓位、羽子板では女暫、助六等の似顏が多くて六七十錢から一圓乃至二圓

■小供用玩具 では『日本一番談』といふのが二十五册一組の書架入りで三圓二十五錢のがよく賣れる又最近舶來品に眞似て作つた布に印刷した小供用繪本は一册四十二錢でよく賣れる、これは第一紙のやうに破けないのと本を切り拔いて綴ひ合した中に

■綿を入れる と人形となるから至る處で喜ばれてゐる、又小供用文具類としては一打十錢位の鉛筆を始め組合せ文具なども面白い、其他一般向きとして最もよく出るのは襟衣類でメリヤスの二圓位から和製毛メリヤスの二圓乃至七圓、舶來毛メリヤスの八圓以上

■三十圓內外 のものもよく賣れる、又毛布の十圓内外のものも出るが襯チヨツキでは羽二重製の二圓五十錢のが一番よく出る、ネクタイは一圓前後のハイカラな品もよく出るが本年は概して濃色のものが流行る又婦人用に格好なのは絹糸の

■桐箱入りで 値段は一圓十五錢から二圓二十五錢までゞある、其の他靴下は半打三四圓の品、下駄草履は男女用共一圓乃至二圓内外の品がよく出るとのこと、次に其の先き隣の辻屋洋品店では吳服物と下駄類を賣らない計り

■雜貨食料品 なんでも賣つてゐるが此處でも矢張りメリヤス類、食料品、洋酒、舶來煙草の賣行が多く殊に婦人の肩掛け獨占とも云つて宜しく每時京都の本場から

■新らしい品 ばかりを仕入れる洋酒は一般に葡萄酒が多く又ウヰスキーブランデーと一緒に籠入りとしたもので一組二圓から三四圓の品も好評であつて洋菓子

■ビスケット 類も盛んに賣れるとのことである併し本年は一般に景氣の好い割合に年末の贈答が遲れたやうな傾である

# 變死調べ

## この頃は厭世自殺者が多い

犯罪が時候と關係して其時季に應じ種類と性質とを異にすると同樣に人間の心理狀態に及ぼす影響が時候に關係の甚しいことは其例が乏しくない從つて自殺者や天災の爲めに變死するものも四季の期節に依つて自ら異つてゐる

▲天災に因る變死 者は盛夏の頃に多く自殺者は若草燃ゆる春の頃と風吹く落葉の秋に續出する夏は活動の時天地大自然に變化の激しい時である暴風雨あり落雷あり洪水あり人間の心理から見ても外部に出で働く時である爲めに種々の變つた現象に觸れる機會が多い從つて變死も自ら水に關するものが多い反對に冬季は火に原因する死傷が多いのも事實である

▲春は情死のやう な色情に關する變死秋の暮れになると生活難或は其他に因由し世を悲觀して自殺するものが多い、試みに京畿道管內に於ける十一月中の變死の數と其原因とを調べて見るに管内居住人口中其大部分は朝鮮人のみである自殺縊死者も殆ど朝鮮人が多數なるだけ中縊死したものが男七女二、入水したものは男子にはなく女子に三、及物を以て自殺したもの男一劇毒藥を服用したもの男五女二となつてゐる次に天災に基因し燒死したもの男二

▲途上で發病して 行倒れとなつたもの男八女一、船の沈沒などに依つて溺死したもの男三、轢死したもの男一、壓死したもの女一、窒息死に至りたもの男一、火傷したもの男女各一名死亡となつてゐる而して右の内自殺したもの、原因を調べて見れば精神の錯亂の結果に出でたるもの女一、病症を苦しみ其爲め自殺したもの男三女一となつてゐる又生活難或は薄命等に依り悲觀の結果に出でしもの男五女四

▲前非を悔ひての 所爲に及びたるもの男一、事業の失敗或は負債の償却に困難したるもの男三、憂鬱性の爲め死したるもの女一となつてゐる此他に十一月一箇月間中に棄兒の數が男兒四女兒二を算へてゐる兒に角一箇月間に病死を除き前記のやうな事故に基因して現世から去られた生靈は四十に達してゐるが年間を通じ朝鮮全道に於ける數は蓋し大した數に上るであらう

# 懸賞募集 新年文藝

課題 ▲和歌『寄國祝』▲短歌『新年』▲俳句『門松』一人一句限 ▲川柳『かるた』▲俗謠『松の内』▲『ものは付け』『目出度ものは』▲一口噺『新年に因めるもの』

〆切 十二月二十日 用紙 端書又は同型の用紙 注意 各種別に別用紙に認むること、表面に京城日報社編輯局內懸賞新年文藝係と記すこと、

賞品 ▲一等（一名）一圓 ▲二等（二名）五十錢宛 ▲三等（三名）三十錢宛（但し本社代理部商品圖書切符贈呈）

# 非番巡査召集

愈年末に迫り種々の事故發生多きより、京城本町警察署にては本月二十日より晝夜の別なく非番巡査を召集して管内を警戒すべし


名譽金牌受領記念大景品附大賣出し

歳末年始 御進物用最適品

いろ〳〵の贈答品に お迷ひなく 進げても 貰つても

| 賣出品名 | |
|---|---|
| △金剛 | △壹圓 |
| △しらぎ | △菊水 |
| △カブト | △八島煙 |
| △百圓 | △スワン |
| △十圓 | △神代 |
| △二鷹 | △常盤 |
| △コンケスト | |

■賣出期間 自大正四年十二月一日 至大正五年一月十五日
■抽籤施行 大正五年一月二十五日

▲賣出品中何れの品にても一包の中に各品名入の引換券が一枚宛封入して有ます ▲其引換券が各一ボールの數に達せし時一枚の抽籤券と御引換を願ます ▲今度の賣出しは從來と異り一ボール分に達して一枚の抽籤券を得る、故御忘れなく御願ます

實用的で喜ばれる

廣江商會謹製の紙卷煙草に限る

御幸運の方には金側懷中時計が當ります

■景品引換期日 自大正五年一月二十五日 至大正五年一月末日

| 景品種目 | | |
|---|---|---|
| ▲特等 | 貳本 | 十八金側時計 |
| ▲壹等 | 十七本 | 十五圓債券 |
| ▲貳等 | 五十本 | 五圓債券 |
| ▲三等 | 四百本 | メリヤスシャツ |
| ▲四等 | 七百本 | 卷莨入 |
| ▲五等 | 千五百七十本 | 靴下 |
| ▲六等 | 二千四百本 | 西洋手拭 |
| ▲七等 | 三千三百本 | 金剛煙草 |
| ▲八等 | 五千五百本 | 新羅煙草 |
| 合計壹萬三千九百三十九本 | | |

製造元 京城 廣江商會

# 千生瓢 (74)

須藤南翠作 筒井年峰畫

## 電馳（二）

是れを第一次の早馬として、一時毎に發した早馬は、殆ど同じ時差を以て到著した。合戰の樣子は次第々々に明かになつた。秀吉は只だ注進を聽くのみにして、未だ何事をも言ひ出さなかつた。

申の上刻に尾崎の筒井順慶入道の砦を發して、單騎暗夜を奔馳し、戌の下刻過る頃、十三里の山路を飛來した、島左近は、近習に導かれて秀吉の面前に進み出た。秀吉はきつ

と視やつて

『左近か、遠路大儀であつた、大岩山落城のよし、其後如何致いた』と、悪に聲をかけた。

左近はハッと一揖して、

『それ、御存知在せらるゝ上は、左近申し上ぐる義おざりませぬ、去りながら殿、大岩山の火は雲を燒き、天を焦し、味方の勇氣までも、悉く灰と致いておざりまする、岩崎の高山殿は、戰はずして開城なされ、我が尾崎の大和勢も、死守して屍を曝らさうや。開いて鋭鋒を避けようやと評議區々おざりまする』と、臆する氣色もなく申し立てた。

『玄蕃允が、猛勢、さもあらう、大岩、岩崎落城の後、玄蕃允如何致いた、凱歌を揚げて行市山へ引き入つたであらうな』

『大岩の砦に入り替つて、先手は直押に賤ケ嶽へ向たげおざりまする』

『志津ケ嶽へ取りかゝつたとか。乾度相違ないか』

秀吉の尋ね方は鋭かつた。左近は儼と容を正して、

『何しに不覺の言上仕りませう。味方の將士餘りに敵を畏れ、浮足になつておざるに依つて、越前勢の氣色訝しき所おざる、某罷り向ふて、物見と斥候仕り申さう。左近が踰りて御左右申すまでは、假令何事のあらうとも、此處を一寸も御退きあるなと申し諫め、單騎大岩山の方に向うて、細々と斥候仕つておざりまする。孰れの陣も勝軍に心驕り、數萬人渦巻いて屯致し居りまするを、逐一見聞致いた上、安井郷の陣所に參り馬に輪をかけて乘り廻し、鞭を以て大凡の人數を算へ申した後、徐に扇をつかひながら、是れは大和侍に島左近と申す者にて候ふ。中川殿の陣を打落し給ひし御働き、近頃目を驚かされて候ふ。高山殿は御勢ひに怯られてや、持場を明けられて候へども、大和武士は左樣にも候はず。今日直ちに御向ひ候ふか、明早旦御越し候ふか、但し是より見參に入り申すべきや、御返事承はり申さばやと存じ候ふと、高らかに申し入れておざりまする。然るに、北國勢何と存じまいてか、一向返事仕りませぬに依つて、身不肖に候へども、御陣前に罷り向ひ、軍の次第申し入れて候ふに、御返事之無は、軍の作法御不案内と覺えて候ふ。御暇申す方々と高聲に呼はつて、馬引き廻して罷り歸つておざりまする。其歸るさ、先方の陣を候ひまいたる處、孰れも志津ケ嶽へ取りかゝる爲とあつて、打立ちまいた事、斯く申す左近、慥に認めまいておざりまする』

辯舌少しも淀みなく、滔々として演べ立てる左近が骨柄、あはれ物の用に立つべき若侍ぞと思はれた。

秀吉は靜かに聽き了つて、

『さて筒井殿、何の爲に其方を使者に立てられたのぢや』

『さればおざりまする。主入入道、深く北國勢の仕寄せを憂慮致しまするに依つて、田神山は程近けれども山の上より落す敵に向ふこと故、柴田勢無謀に寄する事はおざりませぬ。既に志津ケ嶽へ向ふ上は、當陣所は申すまでもなく安泰おざりまする。此上は筑前守殿へ委曲の注進、當手第一の忠功と存ずる旨申し出で、餘人を遣はすまでもなく、乃ち左近罷り向つておざりまする』

『玄蕃允の好意、筑前忝なく受けようわ、さらば方々、急ぎ出陣の用意せい、虎之助大鹿毛に鞍置かせい。急げ〳〵』

秀吉は欣然として衝立上つて、猶豫なく出馬の命を下すのであつた。

入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚科
皮膚病 徽毒病 麻病 淋疾 膀胱病 生殖器 機能障碍
京城明治町二丁目（元旭町）
佐藤醫院
日曜祭日午後二時迄
（電話一一七三番）

▲博文館の『長篇講談』第一篇として本月下旬吉部が出た道に博文館の事とて五百頁の大冊插畫が八十個入で價は僅に三十錢燈下の讀物新春の慰藉として恰好の書物である

◎進物用ホーカースキート 東京和泉橋堀越嘉太郎商店發賣滋養新薬『ホーカースキート』は販賣ならされど流石に多年嘖々たる信用ある堀越商店の製品とて品質と風味とは類品中最も優れたれば頗る好評を博し近來は上流の外家庭に大いに賞用せられ各地よりの注文亦引きも切らざる有樣なり尚今回歲末御贈答品として五個入十個入の二種高尚優美なる箱入として發賣せるが體裁頗る好く文明的贈答品として好評なりと

◎うきよ新年號 年と共に面目を一新せる同誌は益々斯道の描寫に努力すると同時に新聞妓給仕女の身の上話、親兆鹿の見本、商人平袋の平チヤン、山の神列傳、趣味多き記事滿載したれば内長新春の好讀物たるべく特別附錄の懸賞大福引に至つては正に珍無類の妙案趣向なり

■安奉沿線五龍背驛を距る二丁
■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
滿洲五龍背溫泉
■風光絕佳にして一大樂園地なり
■諸病に特効あり理想的療養場なり
■宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

◎懷德縣近信

▲公主嶺の[illegible]

に當り戸數千五百人口約一萬七八千を有し公主嶺とは輸出入共に密接の[illegible]

[illegible]して純蒙古なれば農業者の外は[illegible]

何處にか逃亡せる葛藤より邦人が其[illegible]

ある邦人とは如何なる種類の者かと[illegible]

人にて日本に長らく遊學し法政大學[illegible]

通譯は頗る新しき人にて道回の帝政[illegible]

の皇室を以て帝業をなさしめざる何[illegible]

を聞くに白米一萬五百圓[illegible]

新刊書御案内

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| ◎朝鮮法令輯覽 | 總督府 | 九〇〇 |
| ◎大日本國語辭典 | 上田松井 | 特五〇〇 |
| ◎修正增補漢和大辭典 | 重野外二名 | 三〇〇 |
| ◎新選圍棋全集 | 鈴木爲次郎 | 一〇〇 |
| ◎宇宙縮刷解說 | 三宅雄次郎 | 一五〇 |
| ◎豪俠傳二卷 | 伊藤痴遊 | 九〇 |
| ◎西遊スケッチ | 和田垣謙三 | 一二〇 |
| ◎未だ見ぬ親 | 石峯琴川 | 一〇〇 |
| ◎子規句集寒山落木より | [illegible] | 九〇 |
| ◎銀と盤 | 日向きむ | 八[illegible] |
| ◎文壇與太物語 | 高山辰三 | 六〇 |
| ◎新作御伽學校 | 少年文學社 | 六〇 |
| ◎金鵄草 | 濱石 | 一二〇 |
| ◎新英文解釋研究 | 山崎貞 | 七〇 |
| ◎補習受驗平面幾何詳解 | | 八〇 |
| ◎簡易製鐵術 | 向井哲 | 一三〇 |
| ◎土木工學上卷 | 山口外五名 | 二五〇 |
| ◎俳諧日記 | 俳書堂 | 五〇 |
| ◎短歌日記 | 東雲堂 | 四〇 |
| ◎俳句日記 | 東雲堂 | 四〇 |
| ◎文章日記 | 新潮社 | 六〇 |
| ◎標準かるた | 讀取撒 | 八〇 |
| ◎同讀取稽練習用 | 東京かるた會 | 六〇 |

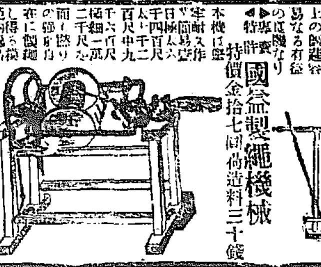
京城本町 電話一〇八六番 振替京城二五七三
大阪屋號書店

新式縫目なしは
履心地頗る宜し
到る處に販賣店あり
大阪府堺市 福助足袋本店

好機！好機！御大典記念と本機の使用季

▲M式製筵機械 實用新案特許 特價金拾八圓 荷造料六十錢

國益製繩機械 特價金拾七圓 荷造料三十錢



明細圖解說明書御申込次第送呈
東京上野 内外農器商會
電話下谷三七二番 振替東京四五八番

撞球界の泰斗 玉乃一熊著

# 撞球指南

菊判上製三百餘頁 總クロース美裝函入
定價壹圓五拾錢（郵税本社負擔）

著者玉乃氏は球界の泰斗にして吾球界の爲に貢獻する所多大なるは、苟もキユーを手にする者にして之を知らざるものなき所也。我國斯技の今日の如く發達せるは、實に氏の賜といふべし。而して今日斯界に有名なる田村、鈴木、友右等の一流の諸選手、皆氏の教を受けざる者なし。就中數年來歐米各國を往來して世界的大選手の稱號を恣ひまゝにせる彼の山田浩二氏（本書には山田氏の序文あり）の如き、最も永く玉乃氏の薰陶を受けたる一人なり。而して山田氏のマッセー等、現時世界第一と稱せらるゝ所以のものは、氏の曾て玉乃氏に就きて斯技の蘊奧を究めしに因らずんばあらず。歐米選手多しと雖も、學理と實地を兼備し、人に教ふるに妙を得たるもの蓋し玉乃氏の右に出づる者なかるべし。氏今本書に於て斯技の蘊奧を吐露す。書中說く所、氏が二十年來研究せる撞球の理論と方法に就て細大漏す所なし。本書は初學者を導く懇切叮嚀なる實に斯技の秘訣を披瀝せる、而して推理論斷、亦實に選手に對する指南車たり。初學者は之によりて斯技の速成を期すべく、後學者は之によりて斯技の十年難解の疑團を氷解すべき也。實に是れ球界空前の大名著なり

大取次所 京城大平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

九重の宮居まで

百人一樣に

我が國產の

花王石鹸を

愛用遊ばすのは國產獎勵の實と申す計りではなく

品質本位

優に世界的

廉價の良品

と公認されて居る故です

發賣元 東京馬喰町 長瀨商會
大阪 大崎組商會

完全哺育料
母乳代用品
品質粗惡成分不良の類似品有之候に付御註文の節は必ず犬印を御指定被下度候

弘田博士外五博士實驗推薦
各醫科大學各專門學校御用
犬印 滋養糖
DR. SOXHLET NAHRZUCKER
小兒ノ發育ヲ強健ニシ胃腸ヲ調整シ貧血虛弱ヲ回復ス

諸大家實驗報告一部申越次第進呈
發賣元 和光堂 東京神田
電話本局一八四六番・振替東京一四九五五番
各地藥店及食料品店取次販賣

歲暮贈答用最適當品

體裁優美
一打 半打 化粧箱詰

發賣元
大塚京城支店
京城南大門通二丁目
電話四〇一番 振替五七〇番